坐右書

五

和學講談所
昌平坂學問所

和書門
二五〇八八號
九六函
三架
七冊

内閣文庫
和書
二五〇八八號
七冊
一五四函
一四架

内閣文庫		
番號	和	25088
冊數	7 (5)	
函號	154	195

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

坐右書巻第五

目録

垜
的串並布草
数塚並数串
ツグラ
日記
再拜
矢代
矢谷
ユカケ
韘緒畄様

日本政府図書

国立公文書館
National Archives of Japan

大射篭手
敷皮
引敷
空穂
空穂ニ矢指
逆頬箙
草箙
佐志箙
狩箙
箙ニ矢指同矢タハ子
箙上帯
矢保呂

以上

○一 アヅチ　高忠聞書云大的丸物草鹿笠掛ナドツモアヅチト云ヘキ也的場ト云事アルマシキ也但大的斗ナトノ日ハ的場ト云テモクルシカラスソレモアヅチト云ヘキ事本也

一 射御持長記云アヅチハ弓杖十杖ニアマレリ廣サ高サ不定廣サ七尺斗ニスヘシ引目ト、メ丘云　○笠掛ノアツチ也

一 高忠聞書云ツクリ物ナトニ大ハザマ小ハザマトハ的アイノ事也

一 闇的聞書云アツチモナキ処ニ的ヲカケスシテ射ル時ハ弓立ヲ定テ的間ヲ弓立ノ方ヨリ歩テ串ヲ立的ヲカケ候ヘシハヤ的ヲカケテ自然アイナト歩見ル時ハ的ノ方カラ歩ヘシ

一 又云アツチノ寸法トテハ本式ハナキ物也但串ヲ立大的ヲカクル串ノ廣サ高サヨリ廿ヒロクタカク有ヘシ兵

日本政府圖書
内閣文庫
栗坂依田家學堂文庫

一 又云丸物草鹿ノアツチ是モ本式寸法トテハナキ物ナリ串ノ廣サ高サヨリハヒロク有ヘシ高サハ串ノ高サホド可然之能程ヲ見計ヒテスヘシ兵

一 又云的ノアツチ又ハ丸物ナトノアツチヲ始テツカスル時モ弓杖寸テ見バヌリ弓ニテ寸ヘシ自然的ヲモカケテ射ル時ニアイヲ寸テ見バ白木ナトニテ寸ノ丘不苦候 濃

一 又云丸物アツチニ子コガキカクル事ハ本式ノ伐ニテハナシハレノ時ハスマジキ之

一 弓馬秘説云大的草鹿笠掛ナドノヲモアツチト云ヘシ的場ト云ヿハ有マシク候但大的ナトスカリノ時的場ト云モ不苦ソレモアツチト云亊猶可然候

一 弓馬故実云アツチト云ハ的ヲ立テ射ル所ヲ云之又射場ト云ハ的ヲ射ル惣様ノ場ヲ云之当時ハアツチヲ射場ト云ユメ〳〵云マシキヿ之然間アツチヲバツクト云弓場ヲバコシラユルト云之

一 的出張記云アヅチトハツ文字ニゴリテヨシ

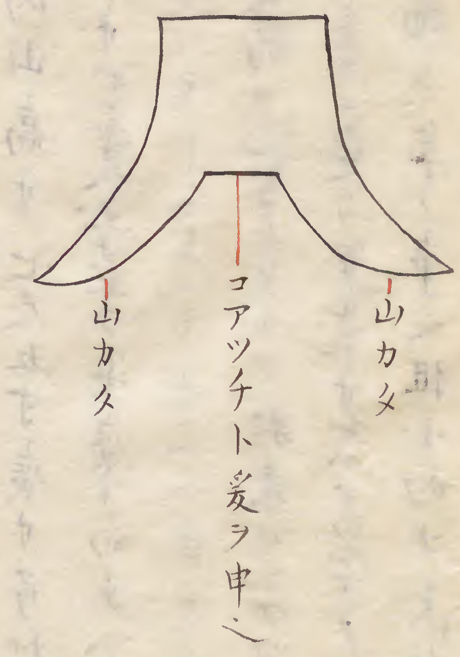
一 諸書当用抄云的山高サ七尺五寸廣サ弓杖一杖杖半一丈五尺ニモアツサハ三尺土臺ヲ女廣クツクヘシ皆是秘事之口傳之

一 弓馬三冊云昔ハ大的ヲモカケスシテ射来ル之アツチトテ近年迄ニテツクヘキ事ニ定リタル之サレハアツチノ寸法不可有殊ニ小垜ト云物近年ノ事之但小的ナト射ル時矢ノ為ハ小垜有ヨキ之是ハ法ノ外ノ事之小垜ト申セハ

トテ大垜トハ云マシキ之

一 弓馬三冊云カキアゲ的場ト云事有垜ナドナキ眺埜
山浦ニテ砂ヲモ芝ヲモ又ハ地ナトモ当世小垜ト申ゴ
トクニカキアゲテ小的ヲ立テ射ルヲカキアゲノ的場ト
云之カキアゲ垜ト云法量不可有

弓法私書
アツチノ図



○一 的串并草串　高忠聞書云大的串丸物串ノ木
ノ事ヒノ木本之日記ニハナニ木トハナケレド昔ヨリ用ツ
ケラレタル事

一 又云大的ノ串ハ白カルヘシ木色之笠挂ノ串丸物ノ串笠黒
ノヌルイハレ尋申処本説存知ナキ由被仰之的丸物
笠挂ノ串ノ支式ノ串ノ如ク竹ニテユリヌキテモ立ル之
クルシカラス但畧戔之フトサ其外程ラヒヲハ式ノ串ノ
ホトラヒニスヘシ

一 又云オリカケ串ノ事草鹿丸物大的笠挂ナトノ串
俄ニ串ソンジテ事ヲカク事有其時ノ戔之地ヨリ上ノ
寸法式ノ串ノホトラ井ニ見ハカラヒテスヘシフトサモ式
ノ串ホドナル竹ヲスヘシヨコ串ノ外ヲハ前ノ串ヲ折カ

ケテ後ノ立串マテ通スヘシ後ノカクル串ハヨコ串ノナカ
タルヘシ前ノ串ニテトラスマジキ也カサ子ヤウ前ノ串
ハカリ表ヘ見ユルヤウニナシテカサヌヘシ後ノ串ハ後ノ方ニナルヘ
シユヒヤウハ縄ニテ三巻ツヽ巻テソレモ後ノ方ニテユウヘシ中一尺両
方ノハシ一尺ツヽ三ユフヘシカケムスビニユフ也竹ヲ少キサミテハタラ
カヌヤウニユフ也又ユヒメノ下ニ見エヌヤウニ竹釘ヲサシテヨキ也
コレハ故実也

一 闌的聞書云丸物草鹿笠懸ノ串ヲハイツレモ黒クスルヘ
シ笠懸ノ布カハノクシヲハカラ竹ニテスヘシ

一 扇鏡云的串ヲケヅルヲバヨルト云也

一 袖鏡云布皮ノ串ハカラ竹ヲヨクタメテ子ホリニスヘシ布

○一 ノ串下ニハ細縄ヲヌヒクヽミテ立チ竹ニユイ付ヘシ竹布

ノ分量ハ法量物ニ見タル間略ス

一 高忠聞書別記云布革ノ串ハ等持院様ヨリ始ナリ
幕ヲハツシテカケラレタリ一幅ミジカクテイマ一幅ソヘ
ラレテ今ニ布カハト云也然間六幅ニスルカ本也但布セバ
クハ七幅ニモスヘシ

一 又云折カケ串ノ事丸物串ナキ垜ノヿ也竹ヲカヤウニ
折懸テ後ノ串ヲハナカラ過迫トシシテキル也前ノ串
ヲハサシワタシテ後ノ串ノ際ニテ切ル也三尺後ヨリ釘ヲ
サシテ表ヘミヘヌ様ニシテ三尺オナワニテ三巻ツヽマキテ
後ニ結ヒメヲモトメテ丸物ヲカクル也串ノ長サヨコ串
五尺竪串ハ三尺七寸也假(カリ)ノ垜ノ義也又笠懸ヲモ串ノ
ナキ垜ハカヤウニ竹ニテオリカケテ的ヲ懸ル也串ノ長

サヨコクシ六尺一寸タツ串ノ長サ四尺五寸ナルヘシ大的ハ
カケスモノ之

一
弓馬故実云布皮ノ事笠掛草鹿丸物ナトニ有之本ノ
串ノ外又別ニ竹ニテ串ヲシテ立ル之串ノ内ノリ長サ以下
（本ハ木串之木串ナケレハ竹之）
本クシノ如ク之布革モ昔ハ五幅ニテ有シ之女ハハギ挟キト
テ中頃六幅ニ成タル之色ハ浅黄タルヘシ長サハ串ノタケ
タルヘシ上ヲバ縫メノ中ヘ横クシノ入様ニスル之スソヲハ内ヘ
ヌヒ返シ五所ニ菊トヂ黒革ニテスヘシ

一
的出張記云的ノカワカノ字スミテヨシニゴルハワロシ 貞丈云布皮ノ事ヲ的皮トモ云之的皮ノ事ヲハ云ニハ本文ノ如クカノ字ヲスミテ云之又小的ノ輪ノ事ハ的ノ輪ナル故ヘニカノ字ヲニゴリテ的ガ輪ト云之本文ニ的ノカワトアルノノ字写アヤマリ成ヘシ除クヘシ

一
又云大的ヲハカクルト申之小的ヲハタツルト申之カクルトモ
可然候 貞丈云大的ヲハ掴ニテカクル故ヘ懸ルト云ヘシ小的ハ串ニハサミ立ル故ヘタツルト云ヘシ小的ハカケタル物ニアラサレハカクルト云ヘカラス本文ニカクルトモ可然候トアルハ誤ナリ

一
又云的掛ル事土ヨリ上六寸ニ掛ル之自然好ミニヨリヒキク
カケヨトアラハ其儀ニ同ズヘシ

一
弓馬故実云折掛串ト云事草鹿丸物ニ用ル事之串
（本式ノ串之）
ナキ時ノヿ之竹ヲ用之フトサ長サハ本串ノ如ク之竖串ノ
長サ横串ノ内ノリ以下ノ串ニ同シ両方ノ末ヲ折懸テ
前ノ串ノウラヲハ後ノ串近通シウシロノ串ヲハウラ
ヲ中程ニテ切ヘシ前ノ串ノウラヲハ前ニ立ウシロノ串
ノウラヲハウシロニ立テ莩縄ニテ三所結之結目ウシロノ
方ニ有ヘシ三巻マキテ男結ニシテ切ヘシ又縄メノ下ニオ
モテヘミエヌヤウニ竹釘ヲサスヘシ両方ノ竖串ノ本三

寸ハカリニ節ヲ置ヘシ是ヲ折懸串ト云之丸物草鹿笠懸ニハ有リ大的ニハ有マシキ之本串ノ寸法ノ事　横串五尺斗但内ノリ四尺三寸斗　竪串土ヨリ上三尺七寸ハカリ串ノフトサハ口一寸四分ハカリ之　貞丈云本串トハ草鹿丸物ノ本式ノ串之寸法ハ摘又草鹿丸物ノ部ニアリ

○一　数塚并数串　射御持長記云数ツカノ事　高サ一尺二寸前ト後トノ間ヘ弓杖一杖後ノ数ツカ一尺五寸的ノ方ヘ可出之前ノ数ツカノ中ニ石ヲ一ツ入ル之数塚コホシテ後ニ弓セキトテ射手ノ可立通リ前ニ置之

一　闡的聞書云数ツカ置様ノ事　先的ノ通リニ前ノ射手マ中ニ立様ニ数塚ヲ置之前ノ数塚ヨリ後ノ間バツシ弓ニテ一杖ニ歩テ前ノ数塚ヨリ一尺五寸後ノ数塚ヲ的ノ方ヘヨセテ置之数塚ノ高サ一尺二寸根ノマハリ地キハノ分三尺上ヘムケテハ肩スバリニスヘシ後前ノ数塚ノ間一杖トハ申セトモ八尺ニモ間ヲスル之亦ハ所ニヨルヘシ濃

一　又云五度ノ取数サス串ノ寸方ノ事シノ竹ヲ上ノ皮ヲコソケテ長サ一尺二寸ニシテ黒クスルヘシ数百又ハ竹ヲケヅリテ

モスヘシ長サ同前又ハ長サ八寸モスヘシフトサハ白箸ノホドサニテ有ヘシ矣

一 又云数ツカ有ル所ニ間ヲハ通スマシキ事之的ノ射手モ又ハ射ヌ人モ心得ヘシ

一 弓之記云数ツカノ前ニ昔ハ矢ヲサシ数ヲトル近年ヤシノヲ（貞丈云矢シノト云ハ矢篦ホドノシノ竹ノコトナリ）一尺二寸ニキリ黒クヌリテタテ矢数ヲ知ルハヤノ所ハ串ノ本ヲ的ニムケ乙矢ノ所ハ弓立（ユンタテ）ノ方ヘ向ケテサス是一段ノ秘事之百手ノ的トモ申百手ノ射事歩射ノ習之猶口傳

一 高忠聞書別記云数サス事ハ五度弓ニカギリタル事之是モ十人之一人ツヽ五ツガヒニテ五度イル之ウシロヨリハ一度モイズシテ五度ナガラ次第ニ前ヨリ射ル之

一 弓馬故実云数塚ノ寸法ノ事廻リ三尺未高サ一尺二寸斗ナリ大的ノ所弓立ノ方ニスナニシテ二ツ有物之ウシロノ数ツカ一尺五寸的ノ方ヘ寄ル二ノ間弓杖一杖ニ歩ヘシ（貞丈云後ノ数塚ヲ的ノ方ヘ一尺五寸ヨセテツクコトハ御前ヨリ後ノ射手ヲモ能御覧セラレン為之）

一 的出張記云数塚ノ高サ一尺二寸カ子ノ定成ヘシ前ト後トノ間弓杖一ツエ（ハヅシ弓ノ定）ニ歩テ後ノ数塚ヲ一尺五寸的ノ方ヘ寄スルナリ

一 又云数ツカト云ハ歩射ノ所数ヲサスニヨリテノ名之弓太郎ノ役ニシテシノ竹ヲ長サ一尺二寸ニ切テ黒クヌリテ置之ヌラヌモ有ヘシ前後所ニ数塚ノキハニ五十ツヽ置之兄矢弟矢ニヨリテサシ（晳）揉前後所ニ秘説タル間委細書載ニ不及コトナル歩射ノ所被用之

一 又云獨弓ニ数サス事是モ数ハ五十宛ナルヘシ置場前弓ノ
数ノ置所ヨリハ少後ヘ寄ヘシサシ様ハ同前之

一 弓之記云数ツカノ前ニハ云々 此文前ニ記ス故畧之前ニ愚按ヲ記サル故今此処ニ記之負丈按的出張記ニ弓太郎ノ役ニシテトアリ此数串ヲ作テ進上スルヿ弓太郎ノ役之数塚ニ数串ヲサスヿハ弓太郎ノ役ニアラス射手各サスヘシ串ノ数五十トアリ百手ノ的ノ矢ハ串数二百アルヘシ五十ツヽ四度出スヘシ又按スルニ上古ハ正月御弓場始以下ノ御的ニハイツモ数串ヲサシタルヘシサレバコソ数塚ヲ必ツカルヽ之役ニ数串サスヿハ畧セラレシナルヘシサレ𪜈其古風ヲ残シテ数塚ヲハ必ツカルヽ之百手ハ別テ式正ノヿナル故是ハ必数串ヲサス事ト見ヘタリ

一 射手方聞書云カス塚ハ二ツノ間弓長(タケ)ニ五寸廣クト之然ラハ八尺九
前弓ノ数塚ヨリウシロノ数塚ハ一尺五寸先ヘ出スヘシ

一 弓馬三冊云数ツカツカセ数(カズ串ノヿ之)コシラヘ出ス事ハ弓太郎ノ役之矢代
フリハジムルモ弓太郎フリ初ル之

○一 ツグラ 蘭的聞書云ツグラノ寸法ノ事 長サ二尺七寸斗
コグチモ一尺八寸斗 両方ノハシヲ縄ニテ二重ニ結テカケムスビ
ニスベシ全中(マン)ヲバ三重ユヒテ夫モカケムスビニテ有ヘシワラニテ
子コガキニイカニモコマカニクミテ両ノハシヲモハヅレ候ハヌ様ニ
クミ入テ夫ヲクルヽトカタク巻テコグチノ高サ二尺八寸
斗ニテ有ヘシ長サモ二尺七寸斗ニクミテマクヘシ次才ニ
末ノ方ハ少コグチヨリ細クスヘシ是ニ的ヲ立テ射ル也
本式之地ヨリ上六寸ニ可立候射ラレテツグラハタラク
事有ヘシ故実ニク井ヲ地ニ打テ其ク井ノ先ヘツクラ
ヲ入テ立ヘシ立所ハ巻目ノコグチ面ニテ有ヘシ射付ノ
小的ヲ射ルト申ハツグラニ立テ射ル事ヲ申之是ヲ立所
巻タルハシ的立ノ前ノ下ノ方ヘ成様ニ地ニ置ヘシ 濃

国立公文書館 National Archives of Japan

一 又云野ノ方ニテ的ヲ野カケニテ射ル所ハツグラヲ持セテ射ル之先弓立ノ方ヲ定テ的アイヲハヅシ弓ニテ歩扨ツグラヲ置ソレニ的ヲ立テ射ル之射付ノ小的ト申ハツグラニ立テノヿヲ申之的矢ニ射付ノフシト申ハツグラニ射付タルニヨリテ射付ノ節ト申之的ヲ立テ歩テ見ル所ハ的ノ方ヨリ歩ヘシ 同

一 又云本ハアヅチトテハナキ事之ツグラニ的ヲ立テ 貞丈云小的之 射タル之ツグラトハワラヲ子コガキニタミテソレヲクルリトマキテ長サ二尺切口二尺ニスヘシ繩ニテハシ二筋中一筋ユフヘシ切口ニ小的ヲ立テ射ヘシ地キハヨリ三六寸ニ立ヘシ其外寸法濃州義候トハ違候惣テ拵様共不審

一 又云射付ノ小的ト申事ハツグラニ小的ヲ立タルヲ申之 心源ニ如此口傳有

一 弓馬故実云ツグラト云物ノ事子コガキシテキリ〳〵ト巻テコクチヲ射ル物之高サハ三尺ハカリ長サハ二尺斗ニシテ二筋繩ニテ結之是ヲ射付トモ云 貞丈云子コガキトハ子コダトモ云ワラニテ組テ作ル之田舎ノ百姓家ナドニテ敷テ居ルムシロ之タヾノムシロヨリアツキ物之夫ヲ巻テコグチニ小的ヲタテヽ射之イツケノ小的ト云之

一 用害記云昔ハツグラト云テワラニテ組タルニ的ヲモカケテ射タリシ之

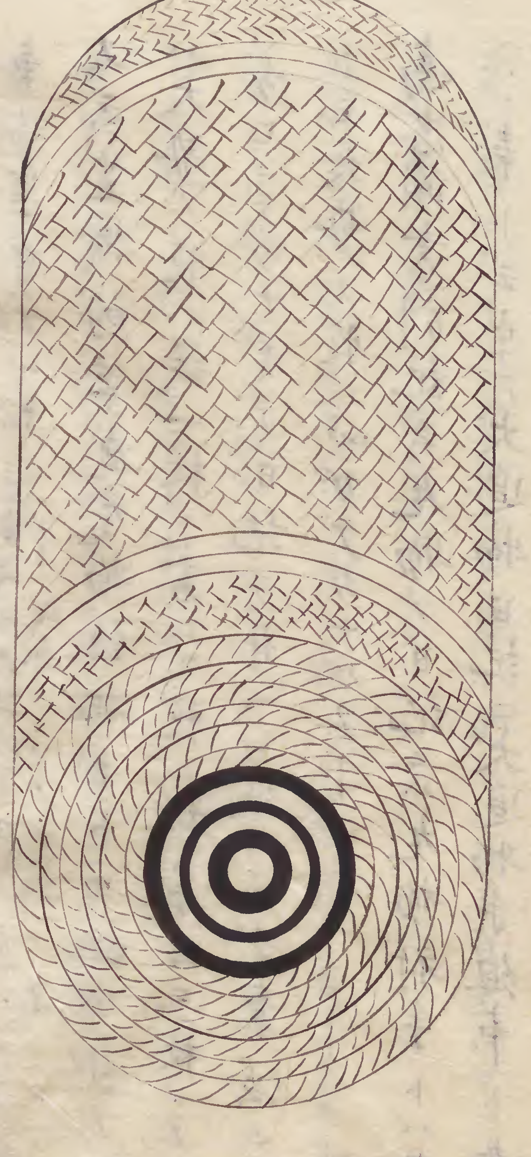
一 弓法私書云ツグラトハワラニテ子コガイヲシテ 貞丈云子コカイハ子コガキナリ 子コガキノ一名ヲ子コダトモツグラトモ云ナリ 巻テ三筋繩ニテ結テ其クチニ的ヲ立ルナリ長サ三尺斗昔ハアヅチナクテツグラニ的ヲ立シ之今ノ小アヅチ是之ツグラノ事秘事也口傳アリ 貞丈云昔ハアヅチナクテトアレトモアツチハ上古ヨリアリシ物之上古ノ書ニ見タリ然トモ小的ニハ昔ハアツチナカリシト云ヿナルベシツグラハ古哥ニモヨミタリ夫木抄ニ俊頼朝臣 山カツノツクラニ井タルソレナレヤ心セバキヲナケクトオモヘハ 云云 此ツクラハスナハチ子コカキノヿ之田舎ノイヤシキモノヽ家ニハツグラヲ敷テ居之

一　弓馬三冊云垜ト云ハツグラノ事之是垜ノ本之昔ハツグラヲアナタコナタモチアリキテ小的ヲ立タル之ツグラノ垜ト云事人ノ不知之

一　又云垜ノコシラヘ様ノ事ワラヲ子コガキニシテ可巻マキタルロ二尺長三尺ナリカ子ノ定ニ可結ユヒメ西ノハシヨリ立ス之コグチニ的ヲ可立（貞丈云ツグラノ事ヲ直ニ垜ト云ヒタルハ非之ツグラヨリ後ニアツチ出来タルニアラス垜ハ其以前ヨリアリシ之前ニ云コトシ）

一　又云ツグラ共分之ムカフヨリ見レバ圓坐ニ的ヲ立タル様ナリ

弓馬三冊ツグラノ図



一　小的ニ云ツグラト云物ハ長サ二尺廣サ三尺ニシテワラニテ子コガキノ様ニシテ長キ方ヲクルクルト巻テ中上下トシリヲ縄ニテ結ヘシ其マキタルロニ小的ヲ立テ村之串（的ノヿ）ニハサミテ立之

○一日記　高忠聞書云丸物ノ日記ニハ丸物射手ト有ヘシ事ノ字ハ犬追物手組事ト書ナラデハ有マジキナリ笠掛ノ日記ニモ笠掛射手ト斗書之御的ノ日記ニモ弓場始射手ト書之百手ノ日記ニモ百手射手ト斗書ナリハサミ物射ル時モ日記アリ挟物射手トハカリ有ヘシ事ノ字有マシキ之（貞丈云大的以下日記ノ事ソレゝノ部ノ内ニアリ烘部ニソノ惣別ノ吏ヲアツメ記ス之）

一又云笠掛的草鹿丸物挟物ナト日記ヲ付テ射ル時ハ大勢ノ時ハ紙一枚ニ書レヌ時二枚ニテモ三枚ニテモ奥ヘソクヒニテツナギテ日記ヲ付ヘシ紙ヲツグ事法ニアラ子ドモ大勢ノ時ハツガデカナハスヿ之

一高忠聞書別記云丸物ノ日記ニハ丸物射手トハカリ有ヘシ事ト云字ハ犬追物日記ニ犬追物手組事ト書ナラデハ有マジキ之笠掛草鹿小的ヲハジメ百手ハサミ物揔テヨノ事ニ事ト云字アルマジキ之

一又云笠掛草鹿丸物ハサミ物ナト日記ヲ付テイルニハ大勢イル時ハ紙二枚ソクヒニテツギテ付ヘシ法ニハアラ子ドモ大勢ノ時ツガデカナハヌ之

一弓馬故実云的丸物草鹿挟物以下大勢成𪜈日記ノ付様トテ別ニ習事ナシ

一高忠聞書別記云コブシハヅレノ事日記ノ付様有口傳（貞丈云是笠掛ノコブシハヅレノ日記付様ヲ云之コブシハヅレノ付様色々説アリ或ハ丸ノ傍ニコブシハヅレト書モアリ或ハ丸ヲ半分黒メヲクモ有正從ニアラスコブシハヅレモ的ニアタラヌ上ハハヅレ之タヾハヅレニ付テ可置是口傳之条ハツレニカヽハルヿナシ）

一弓法私書云丸物射手挟物射手百手射手弓場始射手笠掛射手此等ハ射手ト斗日記ニハ書之事ト云

字ノマキルヽ、儀自然可覚悟候犬追物ノ日記ニ限リテ
犬追物射手事ト書之餘ニハ事ト云字昬ヘカラズ

一 又云笠懸的草鹿丸物挟物ナト日記ヲ付テ射ル時ハ大勢ナラハ二枚モ三枚モ紙ヲ奥ヘ續ヘキ之ヨキホドハ一枚紙本儀ナレド数人ノ時ハ書得ザル條カクノゴトシ

一 笠懸聞書云今ハ御所的ハアタリヲ黒ムル之当世ハ笠懸ノ的ハツレタルヲクロクスヘキ之（貞丈云御所的ハ公方御所ノ的之大的ノアタリヲ黒クスルハ古実之東鑑ニハアタリヲ黒ク書タリ鎌倉時代ヨリノ事之ハヅレヲ黒クスルハ新実ナリ）又云昔ノハアタリヲ黒ムル之（笠懸ノアタリヲ云ナリ）

一 笠懸矢沙汰記云笠懸ノ時日記付出立ノ事射手ニ昬ヘカラス又神事笠懸ノ時ハ白衣ヲ着シ精進潔斎シテ出ヘシ常トハカハルヘキ之

縦按依下文則上之一管恐ニ管字誤

一 又云硯ノ事 筆ハ一管墨ハ一挺之刀水入如常筆スヽギ可有之一管ハ射手ノ名字ヲ可書筆之一管ハ無矢ノ時ケスベキ為之又矢数ヲケシタル筆ニテ射手ノ名書ヲ書事大成非礼之此義希ニモ知タル人不可有之但犬追物ノ時ハ相昬ル事也

一 又云文臺ノ事ハ公方様御相手ノ時ハ日記ヲ文臺ニ置テ可付御見物ノ時ハ文臺ニ不可置雖然上意又ハ犬追物ノ時子細有各別ノ儀之其時ハ文臺ニ置テ付ヘシ又内々ニテ内ノ者斗射手ニテ其主見物ノ時ハ文臺有ヘカラス其主ノ氣色ニ依ルヘキ間雖斗又傍輩斗射手ノ時ハ文臺ニ置テ可付之心得ヘシ

一又云笠掛ノ敗日記付ル料紙ハ公方様ニテハ引合之常ノ敗ハ杉原等之但歩紂的ノ日記ニ同シ

一又云日記ノ付様アタリタル敗クロムル人有一向心得サル子細之於当家其儀ナシ唯ハヅレタル敗斗クロムル之秘スル故記サズ

一又云コブシハヅレノ事日記ニ◐如此半分クロメテ置ト云其モ故ナシトテコブシハヅレノ度ノ丸ノ脇ニ細クコブシハヅレト可付ト有何モイハレサル事之只シチニテ有間イツモノ如クハヅレ矢タルヘシ（貞丈云イツモノコトクハヅレ矢タルヘシトハ丸ノ事ナリ）

一又云神事笠掛ノ敗モ日記ハ常ニ替ル事不可有雖然此敗ハ其ヲ清メ白衣ヲ着スヘシ文臺ノ左ノ手先ニ角ノ香爐ニ名香焼ヘシ墨（宗云墨欤）ヲスル事順ニスルヘシ

一日記付（カサカケノ）ノ在所ノ事笠掛ノ部ニアリ

一八廻日記口傳云犬追物手組記事四ノカドガ賞翫アルヘキ之其外ノ中（ナカ）ハイヅクノ上下ノ沙汰ナシ但四ノカトアタリハ貴人ノウハデシレタテ之何トナク油断ナク□（本ノマヽ）心エヘキ之

端（四ツカトノ次オヲ云リ）ノ上ガ一番奥ノ上ガ二番端ノ下ガ三番奥ノ下ガ四番之検見ハ奥ニ検見ニ字書テ其ソバニ検見ノ名字ト官途ト書之喚次ヲハ検見ノ名字ノ通リニ喚次ノ名官途ヲ書之官途イマダセスハエホシ名ヲ書之喚次ナクテ検見ハカリノ敗モ喚次ト字書之内外（ウチト）ノ検見アル敗ハ（貞丈云二騎ノ検見トモ云）外ノ検見ガ喚次ノ所法ヲスルニ依テ其敗ハ日記ニ喚

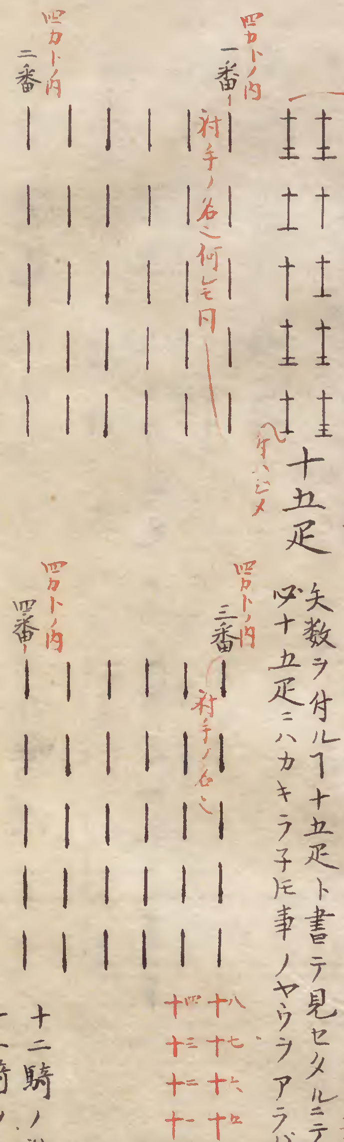
次ト云字ハカヽヌ之検見喚次ト両役ノ分書ドモセバキ
馬場ニテハ検見バカリナルヿ常ニ在之内外ノ検見ア
ル牧ハ日記ノ奥ニ先内ノ検見ノ名官途ヲ書其奥
ニナラヘテ次ニ外ノ検見ノ名字官途ヲ書之内ト云
字ヲモ外ト云字ヲモ書ズ両人ノ名字ナラベテ否
斗之内ノ検見ハ宿老又賞翫ノ人勤之外ノ検見
アル牧ハ喚次無之外ノ検見ガ馳ヨスレハ内ノ検
見歩向テ射手ノ名字ヲ申聞スレハ外ノ検見
ハ内ノ検見ノ申分聞テ其如ク(日記付衆ノ前ニテヨハヽルヽ)栈敷ニテヨハヽル之
(アメリ付ノ仕ヤウ之)射手ノ名字ヲ十ニト書テ十文字トハ分明ニ見
エス 如此モ書キタルモノ之 貞丈云ナヲ畧シテヿ丁ノ字上ニ出ヌヤウナリ
犬ノ日記ニ如此書之小笠原播磨守元長引目

ノ矢シルシニ此丁字セラレシ之此字ノ下ニ矢数ヲ一二
三ナト、付之☰(是ハ犬ノカヅ之)十ト日記ノ端ニ書之日記ノ料紙ハアツ
キ杉原紙之竪様ニ折目ヲ二ツシテユカマヌ様ニ☰ヲ
付之サイハイヲフルヲ見テ日記付ガツクル之日記付モ射
手ノ如クヱホシカケヲスル之

☰十☰十 (下マデ如此数五ツ書之一文字都合五十之犬一疋終レハ一文字ヲ一ツヽ否之二文字十ニナレハ下ニ十ノ字ヲ書之是一手ノ分犬五十疋之)

犬追物射手組事　闌次才
若シ闌ニテ日記ヲ書ハ犬追物手組事 下ノ肪ニ闌次才ト書之之

(此アメリ付何レモ名ノソハニカクノ皆同此十ツニアタリヲ五ツヽ付ル之十コレ一ツハ矢カソ五ツノナニ之日記一枚ハ五十疋ノ分之)



十五足

矢数ヲ付ルヿ十五疋ト書テ見セタルニテ摠ヲ心得ヘシ
必十五疋ニハカキラ子ドモ事ノヤウヲアラハシテ見セタル之

此一二三ノ次才ノコトクアメリヲ付ヘシナノ下ヨリ付ヒルナリ小ク一文字ヲ付ル之

十二騎ノ射手ノ日記之
十二騎ヲ本トスル者之

検見

（検見ノ名）検見　是ハ内外ノ検見ノ日記之内検見外検見トハ書ス事之

（右ニ同）｜｜｜｜

（右ニ同）｜｜｜｜

喚次

（喚次ノ名）｜｜｜｜

年号月日　犬追物手組事ト検見ト喚次ト年号トハ同シ通字カシラヲ書ク、射手ノ名ヨリ一字サカリ之

射手十一人ニテモ十三人ニテモ半ナル時ニハ四番ノ所ニハ別テ賞翫ノ仁書之古キ日記ニミエヌ之手組之日記ニハ書候トモ俄不参ノ射手ヲ名字ノ下ノ肩ニ不参ト書之手組之日記カヽレテハヤ犬始テ射手ノ参シタルニハ挺ノ名字ヨリモ文字ヲ別シテチイサク奥ノ上ノトヲリニ書之

貞丈云右ハ犬追物ノ日記書ヤウノ大方之此外日記ノ書ヤウサマ〳〵ノ習ヒ故実多シ犬追物ノ傳書ニ委クアレハ今畧之

一　犬追物聞書云（一色ノ聞書ナリ）手札ノ寸法ノ事竪八寸横一尺二寸アツサ五分之朱漆ニヌリ候之緒ナドハ付（カラス（貞丈云手札ハ紙ノ日記ノ畧之犬追物方聞書ニモ手札ノ丁有）又云手札ニ日記ヲ付事キトシタル時ハ不可付心安キ射手斗手懸（テカヽリ）ナトサツヾキシゲキ様ナル時可付之書様例式ノ日記ノ如シ端奥ノ事ハ其内ニミアハスヘシ次検見喚次書事同之次年号ノ事例式ノオクニ書タルモクルシカラズ但又犬追物手組事（文明二四十六）如此モ可書之手札ノ事犬追物方聞書ニモアリ

一　犬追物射手可心得次第云手札ノ事札ノウラヲ表朱ニヌルヘシ長サ一尺二寸之廣サ八寸書様ハ最初ノ十足書ヲ五十足ト凢筭用シテ可書也（犬追物雜〻同）

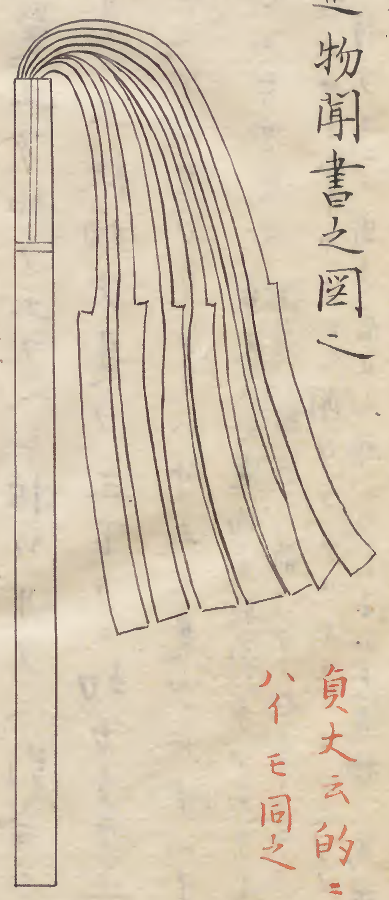
○一　サイハイ　鬮的聞書云小的ノ時サイハイ有ヘシ的ニアタリタル時是ヲフルヽ串ノ長サ一尺二寸

一　又云御所ニテ鬮的ノ御坐候時ハ弓太郎ノ役ニテサイハイ的ヲモハリテ進上申物ヽ

一　大追物方聞書云サイハイノ事串ノ長サ一尺一寸フトサ五分一寸置テ串ヲワリ其ワリタルキハヲ紙ヨリニテ人ノ髪ユフ如クユフヘシ扨ワリメヘ引合ヲヒロサ一寸ハカリニ三枚切テ是ヲ三下ケニ切カケテ二ニ折レハ六ニナルヽソレヲワリメニハサムヽ是ヲサイハイト云ヽ外ハウジニモサスヽ　貞丈云大追物ノ時射手アタリ矢アレハ喚次日記付ノ桟敷ノ前ニテ射手ノ名ヲヨフ時ニヌサフリノ役人サイハイヲフルヽ聞ウケタルト云シルシヽソノヌサフリサイハイヲ持テエンニ出テ居ルヽ外ハウジトハ大追物ノ馬場海辺ナトニテアレハマハリニ竹垣ヲユハスシテ舟ノツナヲ引マハシテ所々サイハイヲ立ルヽ其引マハシタルツナヲトハウジト云ヽフ子ノツナヲ引マハシサイ

ハイ立タル図ノ
射鏡ニ見タリ

犬追物聞書之図之



負丈云的ニ用ルサイハイモ同之

一 射鏡云（犬追物ニアリ）サイマ方士（ハウジ）（牓示之）ノ串土ノ上一尺二寸切口五分紙ヲ一寸八分ヲ二ニワリテ三タケニシテ中ヲ二ニ折テ五分ハサミテ紙ヨリニテ五分斗下ヲユフヘシ同紙ハ引合ヲ三マイ重テ三タケニ切之串ハ九クスル之串ノカシラヲ五分斗両方ヲソク事秘事之

一 上賢抜云 サイハイノ事 引合ヲ一カサ子ヲ三サガリニキリテ中ヲ折テ串ニハサミテスル之廣サ一寸三分斗法量ナシ然バ一サガリ半之紙ノ数ノ数モナキ之タヽ一カサ子ヲ切テ三サガリニスル之同串長サハ一尺二寸ニ削テ帋ヲハサム方ヲ太フトクシテ一カタナソギテソノ切口ヲワリテ紙ヲハサミテワリタル串ノ長カタヘ（カシラヲソギテワル上ヘ一方ハ長キ之）帋ヲマキ付テフクサ帋ヨリニテ二マキニシカトヌケヌ様ニユイテマムスビニムスビテキル之太刀メヲアテヽ紙ヨリヲユフナリヌカサジガタメ之ムスブカタハイヅカタニテモトムル之但サイハイノ帋マキタル方ニテハナク一刀ソギタル方ノ前ニムスビタルガヨキ之

一 弓法秘傳聞書云 サイハイコシラヘヤウノ事 串ノ長サ一尺二寸カ子（曲尺定之）切口五分ノ木ヲ九クケツル之紙ヲ

ハサム方片ソギニスル也ソギテワルル也ワリテ短キ方ウヘニ（前ニナル也）
ナルベシ一寸餘置テ一刀キザム也帋ヲハサミテ後ヘ
紙ヨリニテ二マキマトヒテキザミメノ上ニテ結テ両方
ノ先ヲ切テスツル也串ヲ如此キザム心ハ紙ヨリヲサゲ
ジノ心也此サイハイハ犬追物ノ貼モ的ノ貼モ同事也
コノ帋ハ杉原又ハ引合何レニテモヨシ五枚カサ子ハ五
サカリ五重也三重カサヌレハ三枚アリ猶口傳本ハシ
ロカ子ニテセメヲシテ帋ヨリニテユフタル處ヘセメ上テ候ナリ
紙ヲオトサジタメ也

一 又云サイハイハ的ト犬追物ニナラデハフルマジキ也 貞丈云的ト云ハ大的也

一 弓馬三冊云草鹿丸物笠掛ハサミ物ニハサイハイヲフル事
アルベカラス犬追物鬮的ニ限ル事也

一 鬮的射手覚悟云サイハイノ事本式ハ引合本也又内ミノ貼
ハ何紙ニテモスル也但カタキ帋ガヨシ又云サイハイ切様ノ
事三枚カサ子テ三サガリ五枚カサ子五サガリ七枚重子テ
七サガリ如此切ベキ也串ヲ先ヲワリテハサミテ紙ヨリニ
テ結テヨシ但振事初中後ノ習アル也 貞丈云サイハイノコシラヘ様三枚重子テ切モアリ五枚重テ切モアリ七枚重テ切モ有是三様ノ拵様有之三下リ五下リ七下リハ片一方ノ下リノ数ヲ云也両方ニテハ一倍ニナル也三枚重タルハ犬追物ニ用ル也五枚已上ハ的クジ的ニ用ル也

一 又云サイハイ串ノ事長サ一尺八寸カ子ノ定也トツカヲ丸ク
先ヲ剣頭ニ切ヘシ但竹ニテモスル也矢箆竹ノ女シ大ナルガヨ
シ又矢尺トモ云也

一 又云矢申シハ暮ニ及候テ咎ヘ申也ヒルハサイハイヲ振ヘキ
ナリ振様ハ中リヲフル貼ハ的射的ト三度也又アタラザ

ル取ハ射的ト二度之心得テ振ヘキ之（負文云前ニ記スクジ的聞書ニ的ニアタリタル取振）ナリトアリアタラサル取フルハマギラハシキ之アタラサルニモ振ト云ハ撰歟的射的トハ的ノ方射手ノ方的ノ方ト振ヲ云之）

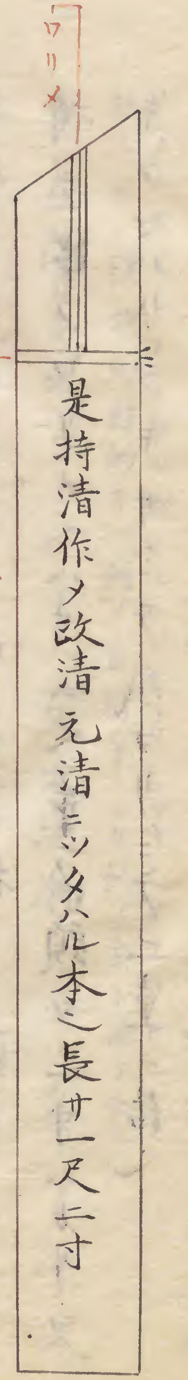
一 安立聞書云サイハイノ叓犬追物ノ取ノ事ヲ平又次郎、宗信（小笠原備前守政清法名之）ニ尋申サル、取宗信ヨリ相傳ノ分之串ノ長サ一尺二寸之串ハ木ヲ丸ク削ル之紙ヲ三ツニ切テ中ノ紙ハ串ニハサム之サガリハ両方ヘ紙ダケ一ツ（半分之）ナカラツヾ、有ヘシ。三ツ重子ハサメバ両方ニサガリ数六ツアルヘシ本ハ白カ子ニテハサミギハセメヲ入ル之（紙コリ之）カウヒ子リニテ（白カ子ノセメヲ入サル取ノ事ヲ云ナリ）結ヘハ二巻マキテ串ノ外ナル上ニテ結ブ之同的ナトノ取ハ紙五ツ重子テ切レハサガリハ数十枚アルヘシ是モ不苦云々

一 犬追物磨鏡云サイハイノ事串ハ木ニテスヘシ但竹ニテモクルシカラス串ノ寸法一尺二寸タルヘシ紙ハ三切ニ切カケテ其中ヲ二ニ折テハサム之然間長サ紙一タケナカラ之廣サハ一寸斗ナルヘシ紙二折斗ヲ切テハサム之串ヲワリテハサム程ハ一寸斗之ハサミキハヲ紙ヨリニテユフヘシ

一 一色犬追物聞書云サイハイノ叓串ノ長サハ一尺二寸フトサノ小口五分余ニテカシラヲ一方ヨリソギテ横ニワリテハサムヘシ次ハサム帋ハ引合ヲヒロサ一寸斗三タケニキリカケテ中ヲ二ニ折テ三合テタテニ折テ串ノワリメヘハサム之串ノ頭ヲ一寸ハカリヲキテマハリヲキザミテ紙ヨリニテ二重ニ結之

一 犬追物聞書云（奈良聞書ナリ）サイハイノ拵様ノ事ニライ

レキノケツリ口傳之骨ノサウデン式如此



一 ヒノ木ニテ九クケツリ串候サイハイノ紙大方一寸ハカリ引合ニテモスイハラニテモ三タケニキリ中ヲ折ハサミ水引ニテ二マハシユヒテクシノタケニ帋ヲキルヘシ

一 犬追物馬足云サイハイノ事長サ（串ノヿヲ云）一尺二寸金定ヒロサ七分斗アツサ四分斗紙ノ数廿三枚上ヨリ五分サゲテ紙ヨリニテ二重結ヘシ

○一 矢代 射御持長記云矢代ノ事神頭本之数塚ノアル矢代ノフリヤウカズ塚ノ前ノカドヨリフリ始テウシロノ数塚ノ前ニフルヘシ十人マテノヿ之十人過ハカズ塚ヲクツスヘシ十人ノ時ハ五人宛立之カズヲサス事モ十人ノ矢数之口傳有之。私云クジ的ノ時ノヿ之

一 又云矢代ハ下矢ヲハ矢サキヲ的ヘムケ上矢ヲスジカヘテフルヘシ上矢ヨリ立テ可射之勝負アラハ射当ル者矢代ヲフルヘシ笠持ハ料足ヲ可取之又勝負ナキ時ハヲチ矢代ヲフルヘキ之ウシロノ矢代次才ニ的ノ方ヘ出ヘキ之

一 又云落ナキ時ノ矢代ノ事勝負ノアランマテ其侭可置若矢代ヲフルヘキナラハ大前ノ上矢ヲフルヘキ

ナリモシ大前ノ上矢主人ナトナラハ後ノ上矢是ヲフル
ヘキ也大ナル秘事口傳スルモノアルヘカラス
一又云サカ羽ノ事一手イタリト云𪜈我矢代斗ヲ歩
返テ如元下矢ノ上ニスチカヘテ可置貴人〻矢代下ナ
ラバサカ羽ヲ歩テ下矢ノソバニ添テ同様ニヲクヘシ
上ニハカサスヘカラス是一ノ秘事
一圓本記云矢代ヲクツカタニフルト云事ハ昔ハ中ヲ
ユタメチノ方ヘタハメ入テ丸クフリタリ今ハウシロヲレ
シ〻ニ的ノ方ヘ寄テ垜ノハムキノ如クフル也古今カ
ヤウニチカフ事モ有分別口傳肝要也
サカ羽古ヿジ的ノ部ニアリ見合スヘシ
一鬮的聞書云鬮的ノ時矢代ノ振ヤウノ事矢代ヲ
○一出スヲ取テ能〻マゼ合テ左ノ手ヲ後ヘヤリテ右ノ
手ニテ矢ヲ持テ右ノ方カラ後ヘ廻シサカ手ニ矢ヲ持
テ左ノ手ヘ取渡シ神頭ノ方右ノ方ニ有様ニ持ヘシ
扨女腰ヲタハメテ右ノ手ニテ二ツヽ取テ下矢ヲイカニモ
スグニ上矢ヲハ神頭ノ方七八寸スヂカヘテ下矢ニウチ
カケ候ヘシ次才ニ後ヘムケテハ前神頭ダケ出シテ振
ヘシ三弓立𪜈アラハ射手ヲカスヘテ三分二ヲ前ヘ振
ヘシヲチハ一ノアトニ有ヘシ四弓立五弓立モアラハツケノ
テ前ノ方ニ置テフルヘシ勝負ナクハ前ノ上矢矢代
ヲフルヘシヲチガアラハ其ヲチガフルヘシナクハ上矢ガ
フルヘシアタリ有トモ地矢ニ成タラハ始ニ射アテタル
射手フルヘシアタリ有テ勝負アラハモトヨリ其アタリ
射手ハ矢代ヲ振ヘシカサヲ持タル人ハ料足ヲ取テ

一 ニツニ分テ両人シテ取ヘシ委事ハ口傳ニ有ヘシ濃

一 又云矢筒ニ的矢三手ジンドウ一手入ヘシジンドウヲ一手入ル事ハ矢代ニ一ツ出ス之自然同様ナルジンドウ有時ハ見分カタキ時今一ヲ取出テ合テ見ルヘシ其為之闡的ノ時ノ吏之本式ハ一手神頭矢筒ニ入テ矢代ニ出ス事本式ナリ只ノ神頭ナト矢代ニ出ス事ハ畧義之人数アマタ有時ハ矢代紛ル物之同

一 又云闡的ノ矢代ノフリ様ノ事四ラ立ニフル時ハ矢代ヲ二ニワケテ弓立ノ方ニ分タルヲ置テ一分ヲハ振ヘシチトアヒヲ置テ今一分ヲ又振ヘシヲチガアラハ一(イチ)ノアトニ振ヘシ三弓立ノ時モ矢代ヲ合テ弓立ノ方ニ置テフル之其時モ一弓立ノ々ノ間ヲ引ノケテ振ヘシイク弓立ニモフリ候ヘヲチガアラバ一(イチ)ノ跡ニ

矢(本ノマヽ) 矢代フル時ハ一ノ始振タルヨリハ歩ツヽ跡ヘムケテジンドウダケホド出シテフルヘシ次才ニ後ヘムケテ此分ニテ有ヘシ射手モ立テ射ル時ハ矢代ノコトク跡ヘムケテ次才ニ先ヘ廿ツヽニジ(虹)カタ(形)ノ様ニヨリテ立候ヘシ足タケホトツヽ次才ニ前ヨリハフミ出シテ立候ヘシ前ノ上矢立テ射ヘシ其次ノ上矢立テ射ル之上矢射ハテヽアラハ前ノ下矢カラ次才次才ニ立テ射ヘシ三弓立五弓立ノ時ハ三弓立ノ五弓立メハ上矢モ下矢モ一度ニ立テ射ヘシ弓立ガセバクテ射手多時ハイク弓立ニモ分テ振ヘシ又弓立ノ廣サソレニ随テ振ヘシヲチノ射手ハ本ハ一ノ跡ニ射ヘシ矢代ヲハ先始ハ射手ノ中ヨリフルヘシ勝負有テハ射当リタル人フルベシ相手ハカケノ料足ヲ取ヘシ二ニ分テ当リ射手ト相手トシテ取

ベシ矢取ニカヽルハ相手カケ候ヘシ自然相手トウチ合タ
ル時モ始射当タル人矢ヲフルヘシ又勝負ト〳〵クチニ
ナリタル時モ始ノ当リ射手矢代ヲ振ヘシ勝負ナキ
時ハヲチガ何度モ矢代ヲフルヘシ又ヲチノ人モナク勝
負モナキ時ハ前ノ上矢何度モ振ヘシ猶々口傳ニアルヘシ
刑

一又云鬮的ノ時矢代ノ振様ノ事　各矢代ヲ取テ前ノ射手
ノ弓立ノ辺ヨリ二杖斗的ノ方ヘ出テ畏テ神頭ノ方ヲ
土ニ付テ矢代ヲマゼ合セ左ヘ子ヂ廻シ右ノ手ニ取テ矢ヲオ
フ様ニ右ノ方ヨリ後ヘ廻シテ同左ノ手ヲモ後ヘ廻シテ矢
代ヲ左ノ手ニ持東マゼテ弓立マヘノ射手ノ通辺ヨリ振始
メ候ヘシ下矢ハ直ニ上矢ヲバ神頭ノ方五六寸斗下矢ニ歩

掛候ヘシ神頭ノ方的ノ方ヘ成ヘシ次第ニ後ヘ振ヘシ神頭タケ
的ノ方ヘニジカタ（虹形）ノ様ニ次第〳〵ニ的ノ方ヘ一足ホトツヽフミ寄
テ立候ヘシ人数オホクテ矢代手ニアマル時ハ矢代ヲ二ニ分テ的
ノ方ヘノケテジンドウ同的ノ方ヘ成様ニ置ヘシ三弓立ノ時
ハ矢ヲカズヘテ三十人射手アラハ矢代廿ハ前ニフルヘシ又廿間
ヲ引ノケテ残シ分ケテ置タルヲ振ヘシ三弓立ニフル時ハ人
数ハイカホトモアレ此心ニテフルヘシ三分一ハ前ニ振ヘシ一分ハ
次ニフルヘシ在所ニ矢代ヲフル時ハ射手ノ内ニ弓太郎ナト
アラハ其人始ハフルヘシ上矢下矢当リテアラハ其人始ハフルヘ
シ上矢下矢当リテアラハ上矢ノ矢代ヲフルヘシ下矢ノ人料
足ヲ取ヘシ又下矢斗射当テアラハ上矢ハ料足取ヘシ下矢
ハ矢代振ヘシ当リナキ時ハヲチアラハ其ヲチ矢代フルヘシ

ヲチナキ所ハ前ノ上矢矢代ヲフルヘシアタリ餘多有テ地ニ
ナル所ハ始ニ射当タル人振ヘシ当リモナクヲチモナキ所ハ
前ノ上矢フルヘシヲチガアラバ其ヲチ矢代ヲフルヘシ矢代フ
ル所矢ヲ後ヘオフヤウニ持テ神頭ノ方ハ右ノ方ヘ出ル様ニ
後ニ持候ヘシ条々口傳ニ有ヘシ当リ乍有テ地ニ成タラハ始ニ
射アテタル人矢代フルヘシ　刑

一　又云闉的ノ所人数多テ弓立ノセハキ所ハ矢代ヲイクツニ
モ分テ置テイク弓立ニモフルヘシ條々振ヤウトモ委口傳ニ
有ヘシ　同

子ムリ
一　又云闉的ノ所子ムリ立ルト申事有之ハ本式ナキ事也其
所ハ地ニ当リノ有所揔ノ射手ノコトクカケヲ出スヘシ当リ
ノ有所揔ノ射手ノコトクカケヲ出スヘシ当リナキ所ハ揔ノ

一　射手カラ一分ツヽ料足ヲ取之是ハ射手デナキ人見物スル
人ノスル事也一向ノ畧義ノ事也　刑

子ムリ
一　弓礼秘傳書云落ヲ子ムリト云叓当流ニハ無之イツモ落
ト云也落西人好ム所ハ上矢ノ落下矢ノ落ト云也元来子
ムリト云事ハ是惣ノ中ニ古ル射手ナド有之テ一坐ノ
興ニ老テ弓モヒカレズ見物モウラ山シサラバセメテハ
子ムリナリトモツカマツラシトテ何ニテモシルシヲ出シ候
ヲ子ムリト申也此サホウモ巻物ニ有之

一　闉的聞書云矢代フリテ有所用モアリテ通ルニ矢代ノ神頭
ノ方ヲハ通マシキ事也弓立ノ方ヲハ通ヘシ弓立ノ方ニモラ
イモナクミナ人ノアリテ自然フサカリテモアラハカナラス矢
代ノジンドウノ方ヲ通ヘシ　刑部如此口傳之備

国立公文書館 National Archives of Japan

立アカリ

一 又云鬮的ノ節立アカリニシテ射ルニハ矢代ヲ一ツナラヘテ振ナリ矢代ヲナラヘテ置間ハ羽ノ両方スレヌホドニヨセテナラヘテフル也始前ニ射タル人ハ射ハテヽ我ト矢代ヲ取テ一ノ跡ニ置テ跡ニ立テ今度ハ射也左様ニ次第々ニ射ハテヽハ後ヘ矢代ヲ取テハ置テ如此立アカリニシテ射ヘシ是ハ先人数スクナキ節如此射ル也条々口傳ニ有ヘシ刑

一 又云鬮的ノ節矢代ヲ分テ振所ワケタル矢代ヲ置ク在所ノ事的ノ方ヘ神頭ノ方ヲナシテ矢代振テ弓手ノ方ニ置ヘシ是本也又弓立ノ方ニモ置也其節モ神頭ノ方的ノ方ヘ成様ニ置ヘシ委条々口傳ニアルヘシ刑

一 又云矢代ノ三弓立ニフリテノ節射手ノ立様ノ事前ノ上矢立テ射ハテヽ後下矢立テ射也其次ニ三弓立目ハ上矢下矢共ニ立テ一度ニ射ヘシ落アラハ同立テ射也三分二ハ前ニフル也三分一ハ引ノケテ後ニ振也上矢下矢共ニ立テ射事ハ人数スクナキ義ニヨリテ如此一度置テ射也刑

一 又云鬮的ノ時矢代振所ニ射手ノ立間ハ弓タヲシスル程アラハ可然候射手ノ立辺ト矢代ノフル間ハ弓杖一杖斗ホト也備

一 又云鬮的ノ節矢代ヲハ勝負有共ナク共度コトニフリ直スヘシ射当リタル人矢代フルヘシ縦当有之地矢ニ成タリ共一ノ始射当タル人振ヘシ亦勝負ナクテトヲル事アラハヲチノ人振ヘシ若落ナキ節ハ前ノ射

手ノ上矢ノ人矢代振ヘシ是ハ当リナキ敗ノ事之地ニ成タラハ一ノ始射当タル人矢代フルヘシ勝負アラハ射当タル人振ヘシ料足ハカサモチ取ヘシ条々口傳ニ有ヘシ　濃

一　矢代ヲ三弓立ニアリテノ敗射手ノ立様ノ事前ノ上矢立テ射ハテヽ後下矢立テ射之其次ニ三弓立目ハ上矢下矢トモニ立テ一度ニ射ヘシヲチアラハ同立テ射之三分

一　二ハ前ニフル之三分一ハ引ノケテ後ニ振之上矢下矢トモニ立テ射ル事ハ人数スクナキ故ニヨリテ如此一度ニ立テ射ル之　刑

一　又云鬮的ノ敗矢代振所ニ射手ノ立間ハ弓タヲシスル程アラハ可然候射手ノ立辺ト矢代ノフル間ハ弓杖一杖斗ホト之　備

一　又云鬮的ノ敗矢代ヲハ勝負有トモナクトモ度コトニフリ直スヘシ射当リタル人矢代フルヘシ縦当有之地矢ニ成タリトモ一ノ始射当タル人振ヘシ亦勝負ナクテトラル事アラハヲチノ人振ヘシ若ヲチナキ敗ハ前ノ射手ノ上矢ノ人矢代振ヘシ是ハ当リナキ敗ノ支之地ニ成タラハ一ノ始射当タル人矢代フルヘシ勝負アラハ射当タル人振ヘシ料足ハカサモチ取ヘシ条々口傳ニ有ヘシ　濃

一　高忠聞書別記云矢代ニ出スヘキ矢ノ事一手ジンドウヲ出ス物之是マヅ本之唯ノジンドウハ略儀ナルヘシ

一　又云矢代フル敗ノ事　オチ矢ノ矢代ヲイロノ｜ニフル人有或ハ両方ノ手ニテフリナトスル是ハイハレヌ事之タヽ前ノコトクカタ手ニテフリトムル之是　上原豊前殿聞書

ヲ神五市殿ヨリ申請候テ写置之

一弓馬故実云小的ノ時矢代振様ノ事一番ニハ先功者出テフル物之後ニハ中リタル人フル物之フリ様ノ吏一番ヨリ我カ矢代（矢代一手ジンドリ之）ヲ持テモ出又ハイチ後ニ知音ノ人シテ取寄セテモフリ候之先アツチヲ左ノ方ニ見テ女アツチノ方ヘスヂカヘテ向テ居候之揺ノ（矢代一手ジントウ一ツ出ス之）矢代ヲ受取テモハヤ射手ナキ時扱ロクニ的ノ方ヲ左ニナシテ跪居直リ矢代ヲ跪一ツニシテ扱揺ノ矢代ヲ三度ヒキワケ〳〵シテ

一又一ツニ取テ両手ヲオシ下ケテタテサマニ（右手ニサカ手ニ持之）矢代ヲウシロヘ（右手ノワキヨリニス左ニ持カル之）マハシテ矢ノ筈ノ方左ノ方ニ下ヘ成様ニ持テ扱射手ノ女キ時ハ女先ヘ出大勢有ハ一段先ヘ出テサテ（右ノ手ヲウシロヘマハシテトル之）矢二ツ取出テ目ノ通ニ持テ的ノ方ヲ一目矢ノ方ヲ

一目見テ扱ツクバヒハセズシテ腰ヲカヾメ下矢ヲ直ニ上矢ヲ（カサ子カケテヲクノ之ドウキノ上ニヲリ之）スヂカヘテ置之如此イフ有ヒ次第ノ〳〵ニ同様ニフル之扱ハテニ（コレヲチノ矢代之）矢一ツアマリタラハ左ノ手ニテハ根ヲ持右ノ手ニテハ根ノ方ヨリ筈ノ方迄ナデ下ケテ右ノ手ニ筈ヲ持テ此時ハツクバヒテ両ノ手ニテ下ニ一文字ニ置之扱退時ハ手ヲツキテ退ヘシ右ノ手ニテモ左ノ手ニテモ近キ方ノ手ヲツキテ退ヘシ人数女時ハ上矢ヲ女タテサマニ成様ニフル大勢ノ時ハ上矢ヲ横メニナルヤウニフル之（貞丈云ヲチノ矢代ヲ両手ニテヲクハワロシ片手ニテヲクヘシト高忠聞書別記ニミヘタリ前ニアリ）

一又云矢代フル時貴人ノ御矢代ヲ可受取様ノ事

是ハ前ニ記ス如ク一番ニフル時ハ先貴人ノ御矢

代ヲ請取テソレヲ持行テ捻ノ矢代ヲ取ヘシ若又矢
代アマタ早受取タル所ヘ御出アラハソノ時ハヨノ人
貴人ノ御矢代ヲ持テ来ルヘシ然ル時ハ惣〆矢代ヲ
根ノ方ヲ的ノ下ヘナシ下ニ置テ貴人ノ御矢代ヲ
一ツ請取テサテ下ニ置タル矢代ト一ツニマゼテ持ヘシ
其跡ニモイマタ射手アラハソノ矢代ヲ請取ヘシ若
ナクハ貴人ノ矢代ヲ受取テマゼテ前ニ注スヿトクフ
ルヘシタトヒ貴人ノ矢代ナリ𪜈先ニフリ出ス様ニスル
ヿワロシ成ヽハ先ニ出ス様ニシタルガヨケレ𪜈ナラス
ヲムリニ先ヘ出スヤウニハセヌ物之 負丈云矢代フリ様色〻習アリ矢代記
別ニ一巻アリ

一 又云小的ノ時勝負ナキ時ハ矢代ヲソノマヽクヅサ
スシテ射ヘシ又勝負アル時ハフリ直シテ射ヘシ

一 又云三弓立（ミユンダチ）矢代ノ事十組マヅフリテ今残リ五組
ヲハ間ヲ置テフルヽ立様モ上矢通リ十人其下矢
十人アト五組ハ上矢下矢ノヽトマゼテ十人立ヘシ是マ
テ三十人ナリ

一 又云射手大勢ニテ四弓（ヨ）立五弓（イツ）立ニ立事本式ニナキ
事之乍去三弓立ノ心ニ立ヘシ四十人ナラハ上矢通リ
十人其下矢通リヽ十人又残ノ射手モ如此立ヘシ五
十人ノ時モ同シ但跡十人ハ上矢下矢ノヽト前三弓（ミ）
立ノ如クナルヘシ

一 射手方聞書云矢代フルヤウ先畏テ矢ヲ両ノ手ニツカ子テヨク
オシモミテ交ルヽツキソロヘテ立上リテ右ノ脇ヘ廻シテ負タル矢

ヲウシロヘオシマハシタル如ニシテ矢筈ノ方ヲアツチヘ向テ二筋取（左ニテサカ手ニトル、ウシロニアルモノ一之）（右ニテサカ手ニトル之）
出シテ矢筈ノ方ヲ我右ヘナシテ下ニナル矢一筋ヲハ直ニ置
テ上矢ヲハ筈ヲ我前ヘムケテ下矢ノ直ナル上ニサスヂカヘ
テ上矢モ下矢モ本ハギヨリ三寸斗下テスヂカヘテ置之フリ
ノアマシタル矢ヲ一筋ヲチノ矢ト云之上矢ノ人ヨリ立テ射ル
ナリ若人数五六十人モアリテ矢一度ニハ手ニ餘ラバ二ニ
分テ置テフル之

一 矢代之記云矢代神頭トハ申間敷之タヾ神頭ヲ矢代ニ
出スト云之

一 又云矢代（射手ノリ之）持テ出テ神頭ヲ先ヘナシ我右ノ方ノ手ニテ
ヒツサゲテ持テ出矢代ノ所ニ神頭ヲ的ニ向テ置ヘシ又
其外ニ矢代フル人アラハ左右ノ手ニテ渡之

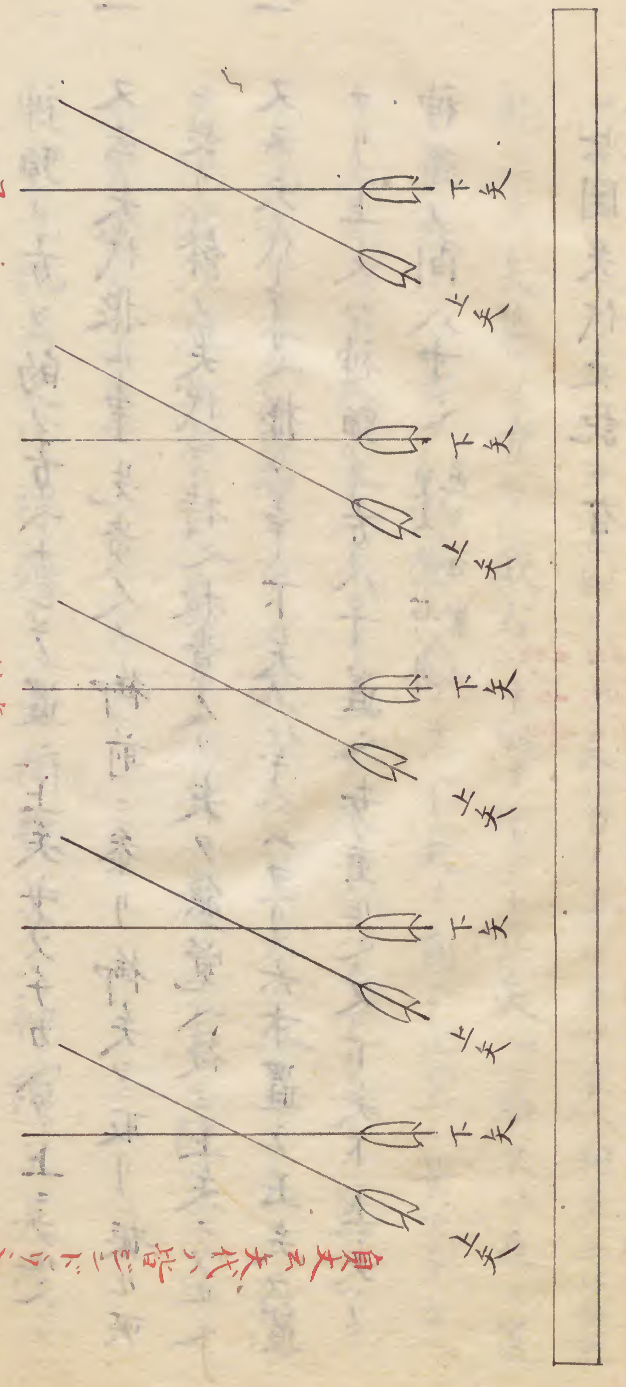
一 又云射手ノ面々一人ツヽ持テ来ランヲ取フル人ノ右ノ手ニテ下手ニ
取左ノ手ヘ取渡シテ矢代皆々添候ハヾ一ツニ取合ツキ揃ヘ三
度斗押マゼ左ノ手ノ下ヲ右ノ手ニテサカ手ニ取ウシロヘ廻シ
ウシロニテ左ノ手ヘ取渡シ右ノ手ニテ二筋取出シテ下矢ハ直ニ
神頭ノ方ヲ的ノ方ヘナシテ置之上矢サスヂカヘテ上ニフル之

一 又云矢代振ル事先貴人ノ御前ニ参リ御矢ヲ取リ振ル所
ニ畏リ餘ノ矢代ヲ持之扨貴人ノ矢ヲ能覚ヘ後ニ上矢ニフル之

一 又云矢代チカヘ様ノ事下矢ノハギヾハヨリ六寸置テ上矢ヲ置
ナリ上矢ハ神頭ノ方八寸置之サ重ル之又下矢ト上矢ノ
神頭ノ間八寸之 貞丈云右ノ外色々有略ス

此図矢代之記ニ有

（貞丈云此方ハ弓ニ勢ノ右ノ射手ノ左右ノ）



一 又云落ノ矢代候ハヽ立ナカラ片手ニテ置テ矢代ノ揺ノ矢次ナミヲ見ルヤウニシテ我居ル坐ニ帰ル之帰道ニ貴人ナト御坐候ハヽ手ヲツキ罷通之貴人ナクハ其マヽ通ルヘシ

一 又云落ノ矢代ヲ畏ナトシテ左右ノ手ニテ持的ノ方ヲ見テ置人アリ大ニアヤマリ之其マヽ置叓之

一 又云矢代フル時取落事此時ハ其マヽ右ノ手ニ取リテ後ヘ廻シ取添テフルヘシ

一 又云矢代フル時我矢ハ下矢ニ置ヘキ之

一 又云風吹ノ矢代ハフル内ニ四組ヨリ上ハ皆矢代ヲ取テ振直スヘシ

一 又云風吹ノ時矢代二組三組吹散シタルハ皆フリ渡シ弓立ノ方ヘ廻リ筈ヲトラヘテ其侭上矢ニ直スヘシ

一 又云射手小勢ノ時ハ矢代ヲナラヘテ一ツヽフルヘシ持様フリ様常ノコトシ

一 又云矢代ト云所ハ歩ト云クジト云所ハフルト云ヘキナリ
貞丈云人々常ニ矢代ヲフルトイヒナラハセ𪜈本ニハ矢代ヲ歩ト云之大追物ノ勝負ナトニ引目ヲ矢代ノコトクスルヲ引目クジト云之是ヲハ引目クジヲフルトイウナリ

一 諸書当用抄云矢代ニハ一手ジンドウカ本儀之出ス所モ甲矢出サバフル人ニ心得テ出スヘシ同事ナガラ同外(ムキ)ノ羽ノ方ハ出スヘカラス

一 弓法秘傳聞書云矢代出ス次第ノ度先弓太郎我カ矢代ヲ持テ出ハ其次ヨリ我ト持テヨルヘシ弓太郎弓立ノ中程ヨリチト前マテ行テキトウシロヘ向ナラリテヒザヲバツカテカシコマルヘシ其所各ガ矢ヲ持寄テ畏可渡右ノ手ニテ受取ヘシ矢代悉ソロヒ候ハヽ立廻テ的ヲ弓手ノウシロニナスヤウニ向テ又先ノ如ク畏テヨクノヽ矢代ヲ歩合之又遅参ノ人ハ何所モクジフル所矢代ヲ持テ寄テ可渡
貞丈云クジフルトハ矢代フルイ之クジ的ト云モ矢代フリテ射ル故ヘクジ的トイフナリ

一 又云鬮ヨリ手ノ事最前ハ弓太郎ノ役之若弓太郎不参ノ所ハ先ノ弓太郎フルヘシソレモ不参(ナラ)ハ旧参ニモフルヘシ後々勝負有所ハアタリ矢フルヘシ持(チ)矢ナラハ（貞丈云勝負ナキヲ持ト云之）最初ノアタリ矢フルヘシ無(ム)矢ニテトラル所ハ大ウシロフルヘシ（一ツハオチ一ツハ子フリ之）オチニ双アラハ其役タルヘシ是ハ無矢ノ所ノ事ナリ

一 又云同ハラヒ様ノ事上矢ニテモ下矢ニテモアタリ矢前ノ方ニアラハ前ヨリ掃ヘシ後ニアラハウシロヨリ掃ヘシ何ノ所モ中ニテ掃テ中ニ置テ又ソレヨリ末ヲ掃テ中(ナカ)ヘ持寄テ合スヘシ但人数小勢ノ所ハハラヒ通ルヘシ同又フリ

様ノ事ハテヒタル矢代ヲ能サラノート合テ二ツニ分テ一分
ヲ前ヘ持テスゲカヘテカサ子フルヘシ如此中ヲフリテ又
残シタル分ヲ亦ニフリツクヘシ可心得

一 弓法私書云矢代ハウシロヨリモ前ヨリモクツズ之（貞丈云矢代フリ直ス時前フリ置タル矢代ヲクヅスナリ）

一 弓馬三冊云数サヽサル時モ十人射ルマテハ数ツカヲハ其マヽ
置テ矢代ヲフリテ射ル之数ツカヲハ弓立（ユミタチ）ニイツモツキテ
オクヘシ矢代ハ数ツカヨリサキ的ノ方ヘ弓杖一杖ハカリ
出シテ振ヘシウシロノ数ツカハ一尺五寸的ノ方ヘ出シ築ク
ナリ矢代ヲモ数ツカニツレテウシロハ的ノ前ヘ次才出シ
テ可振十人ニ餘ルハ数ツカヲクツシテ矢代ヲ可振其
時モ数ツカノ有時ノコトク前ノ矢代ヨリ後ノ矢代ハ次
才ニ的ノ方ヘ出シテ可振数ツカナキ時モ弓立ヨリ弓
杖一杖ハカリ的ノ方ヘ出シテ可振矢トヽノアハヒハ矢代
多時ハアハヒヲ近クヨセテフリ矢代スクナキ時ハアハヒ
ヲ遠クフルヘシ

立アカリ 一 又云立アカリニ射ル時ハ矢代振テ可射フリ様ハ常ノ
コトクニテ矢一ツヽスクニ置之（貞丈云立アカリト云ヿクジマトノ部ニシルス）

射スクリ 一 歩立躰拵記云矢代ヲバ一ツヽフルヲバ射スグリト云之

子フリ 一 又云子フリノ矢代ヲハ射手衆ニテナキ見物衆出シ候之

一 小的事ニ云矢代ノ事フリ始ル時ハ弓太郎フルヘキヿ之
弓太郎ナクハ射手ノ中ニ物ヲモ知タル人ニ始テフラ
セ後ハ矢代次才ニフルヘシ

一 又云オチノ矢代ヲ皆〻振事両方ノ手ニテフリナドスル

一 事大ニ不可然只前ノ矢代ヲ振テ来ル如ク片手ニ
テフリテ置ヘシオチノ矢代フルヤウ有由人ノ云更ニ当
家ニハナキ也 勝ノスヘ様ハ犬ノ時矢ノ沙汰スル時ノ如ク
成ヘシ

矢コタヘ
矢サケヒ
同事也

○一 矢荅 射御拾遺抄云矢コタヘノ事 高カラスヒキカラスト
イヘリヨク射タル時馬ヲスヘサマニ弓手ヘカシラヲツク
リテヲゴヱヲ出ヘシ（貞丈云右ハ犬追物ノ矢荅ヲ云） カシラヲツクルトイフハ
此時ノ事也 又庥射タル時ノ矢コタヘハカホヲアヲノケテ
アヽソトハカリ云也 同矢ヒラキノ時モ矢コタヘシタカヘラ
スヒキカラスト云事 矢ヒラキニモアルヘシ（貞丈云庥射タル時トハ狩ノ時ノ事也）
（又云上古ハ矢サケヒト云 中古以来矢荅ヘト云）

一 岡本記云庥ヲ射テ矢コタヘノ事 アヽトイフヘシコレハ
犬追物ニハカハル也 口傳条ニアリ

一 高忠聞書云庥ヲ射テ矢コタヘスルニハカホヲアフノキ
テアヽト矢荅ヲスル也 又云矢荅ヲスル事 庥ニ限タル
事也 コト物ニアヽト 矢コタヘスル叓ハナキ也 シカキニ

立テモ矢咎スヘシ〻カキトハ歩立ニテ射ル時ノヿ也
又云前ヲキノ物ヲ射テモ貞丈云前ヲキノ物ト云事将ノ部ニ記ス矢咎ヲ
シテ馬ノ足ヲ出スヘシ矢コタヘヲスルニハ犬追物ノ時
ノコトク左ヘクヒヲツクリテオヽト長クスル也貞丈云麻ヲ射
テハアヽト矢咎スル也又前ヲキノ
物ハ麻ニアラサル故オヽト矢咎スル也

一 高忠聞書別記云鹿ヲ射ルヲハ歩立ノ時ハシ〻カキ
ニ立ト云馬ニテ射ル時ハウツニヒカヘテト云也弓手
ニテモ馬手ニテモ矢咎ラス矢咎ハ女ウシロヘ
ソリテヒラキテアヽト云也

一 諸書当用抄云（小笠原之）当流ニハ矢サケビト云事ユメ〳〵有
ヘカラス矢コタヘト可申也貞丈云古代ハ矢サケヒト云タリ
夫木抄信実朝臣ノ哥ニミチ
オホキ那須ノミカリノ矢サケビニノカレヌ麻ノコヱソキコユル又平家
物語ニ手コタヘシテハタトアタルヱタリヤヲウト矢サケビヲコソシ

ケレト見ヱタリサレハ矢サケビト云詞ハフルキヿ也後ニ矢サケヒヲ矢コタヘト
イヒカヘタルナリ矢サケビト云ヿハロキヿテハアラス矢コタヘト云カヘタル
ガワロキ也犬追物ノ時犬ヲ射テ弓手ヘクビヲツクリテオウト声ヲ出ス
ヲモ矢咎トイヒ又検見ニ矢咎ヲ問ハレタル時弓手モ馬手モ押モヂリナ
トコタヘタルヲモ矢コタヘト云犬追物ニ矢コタヘトイフヿ二品アリテマギ
ラハシキヿ也オウト声ヲ出スヲハ矢サケビトイヒ矢咎ヲ問ハレテ咎フ
ルヲハ矢咎ト云ヘキ事也然レ𪜈小笠原家ニテ矢サケヒヲ
矢咎トイヒカヘテソレニ定リ来タレハセンカタモナシ

○一ユカケ　射御拾遺抄云ユカケノユビツグ事ツガザル本ニ但根本大指トクスシ指ト革コラヘザル間クスシユビバカリヲハジメツキタリニツグ事ハ其後ノ義ニ畧儀ニ

一弓箭条々云弓ヲ不持トモ韘ヲサスニ何時モ弓ヲ仕ラン心得ニ

一射御持長記云ユカケノ指ツグ事大ユビクスシ指ヲツクニ是ハ弦ニツヨクアタル間革ヲ厚クセンガ為ニシカリトイヘ共当世タケ高クスシ指ヲツクニ紫革ニテ(ユ)ユビヲツクヿハケガレヲノゾク為ニユビヲツカヌ本ナルヘシ革ハ赤革本ニ

一又云弓場ニテ酒ナドアリテ御酌シ取事アラバユカケヲ取テ懐ニ入テ組(紐ヒモ)ヲ結テ御酌ヲ可取ニ酒ヲモタベハユカケヲ可取若トウリウナクバユガケノタホヒヲムクリ返ヘシ返ヘシヒモヲハ納ス共ユカケヲ可取ニ

一又云ユカケヲハ右ヨリサスニ取時ハ左ヨリ取ヘシ主人ニマイラスル時ハ結目ヲトキテ右ヨリマイラスヘシ皆ハ左ヨリハクヘシ

一岡本記云ハ子ユカケノ事ハ道(弓矢ノ道ノ本義)ノ義ニナシコレハ具足ニ弓教候者ノシイタシタルヿニタトヘハマナヒタル心セヒ(蝉)ハヌクル心アリコレモ矢ノ名詮ニカクノ如ク又セヒハカラヨリヌクルトテモセナカハレ候然者(射手)テモヨクヒキマハシ弓手メテヲカタメウシロナルミソラ定規ニシテハナセバ矢サキチラストイフ心ニハ子ユガケヲ人ノモチ

ヘマゼテ中間道ニテナキ子細クワシクシルシワケ候ヿ
ナリ

一 又云ユガケノ緒ニ事カクル儀アラハ黄華ナトスヘシ
口傳アリ

一 又云ユガケノユビクスシユビヨリヌキ初メ候事也一段ノ
秘事也但口傳有之

一 出陣聞書云軍陣ノユカケヲハ別ノ華ニテノユビヲツグ
ヘカラス

一 高忠聞書云ユカケノユヒヲツク事 頼朝大将ノ御
時富士ノ牧狩ノ時久ク狩ヲセラルヽニヨリテ大ユヒト
クスシユヒノカワニ弦ツヨクアタル間ヤフレタリ 其時大
指トクスシユビ斗ヲ（異華）（別ノ華ト云ヿ也）コトカハニテ継始ラレタリソレヨリ
オモシロキトテ其後ヨリクスシ指トタケ高指ヲニツツ
ギテ今ニ至テ継来ル也始ハ大指ト薬指トヲ継タリ根
本ハコトカハニテ指ヲツカヌ也サルニヨリテ（同シ華ト云ヿ也）トモガハニテ
ユビヲツギタルガ本也

一 又云ユカケノユビ華当世コト華ニテツグ事畧儀也
ユビヲモ同シ華ニテツグヘキガ本也緒ノ華ニハ紫華
ヲ付ヘシ紫華本ニハアラス当世用付タル也ユガケ華
何カハトハ定ラヌ也ユカケノ華ニテ緒ヲモ付ル也但
見ニクキ間紫華ヲ用也ユカケノ華ト指華ト緒ノ
華ト三色別々ノ華ニテハセヌ事也ユビノ華ニテモ
ユカケノ華ニテモアレ同シ緒ヲ付ヘシ

一 又云ユカケニヌフマシキ華ノ事ニシキ華 又何ニテモ

アレ無紋ノ華ニテヌフマジキ也タトヒコト華ニテユビヲ
ツグトモソレハ略義也ニシキ華トハオモテカハノヿ也

一 又云ユカケヲ一具サス眼ハ右カラサシテ取眼ハ左カラ
トル也

一 又云ユカケヲ手袋ト云事流鏑馬ノ時ニ限リテ手袋
ト云也

一 又云ユカケ一具トハイヘトモ一手ユガケトハイハズ右ユガ
ケトハイヘ圧カタ〱ユガケ圧カタユガケ圧イハヌ叓也
貞丈云カチタチニテ射ルハ右ユガケ斗也
馬上ニテ射ルハ一具ユカケ也左右ニサスナリ

一 又云ユガケヲ左ハカリサス事鷹師ナラテハ有ヘカ
ラス射手方ノ義ニハシラヌ事也

一 闡的聞書云随兵ノユカケヲハ手袋ト申也摠テユガ
ケハユヒ継タルハ略義ノ事也本ハトモ皮ニテスヘシ但随兵
ノ眼ハ指継タル圧不苦

一 高忠聞書別記云的ユカケモユビヲツグ事略義也トモ
皮ニテツグヘシ

一 又云ユカケノ緒ノ長ササダマラヌ也

一 又云ユカケヲハ一具トイフ也モロユカケトハイハヌ也

一 弓馬秘説云ユカケヲハタヽスルト云キラスルトハ不可
言也

一 弓馬故実云一具ユカケサスヘキ次才ノ事右ヨリサシテ左
ヨリトルヘシサルニヨリ常ニカサ子テ置眼モ右ヲ上ニ重
テ置ヘシ
貞丈云左ヲサキニサセハ右ノ緒
ムスビニクキ故右カラ先ニサス也

一 又云ユカケヲバサストルト云也ヌグナドヽハ云マジキ也

一 又云ユカケヲムチニ結テ置事別ノ事ナシウデヌキニユカケノ緒ヲ引トキニワナニムスビテ置之

一 又云ユカケニセヌ皮ノ事ニシキ革是ハオモテ革ト云之 具足ノムナ板ナドニアツル皮ノ事之 其外紫革揔別無紋ノ皮ニテハセヌ之 水マキ又巻フスベナトニスヘシ 手ノカウニ紋ヲ付ル事（貞丈云家ノ紋ノ事ナリ）ワロシ 軍陣ノ時ナドニ我ガ家ノ紋ヲ付ル之 乍去当代ノ具足武者ノ出立ニテハ其ユカケサシタルハワロシ 唯常ノユカケヲサスヘシ（貞丈云当代トハ天文永禄ノ頃之 式正ノ鎧ノ制其頃ヨリ変シテワイダテナキ鎧出来シナリ）

一 又云指継事紫革ニテモツグ之 指二ツ継ヘシ 指継ク皮ト又緒ノ皮トユカケノ皮ト三色チガヒタルハワロシ 指継タル皮ト一色トテユカケノ皮ノチガヒタルガヨシ之

一 又云一具ユガケサシタル時左ユガケノ手ノ内切ルト云叓持ノ時ノ事之 是ハ弓ヲ能ニギリ覚ベキ為之（貞丈云今世ユカケノ手ノ内切タルアナヲトコロウト云 兎ロノ字之略名フルキ書ニ見エズ近世ノ名ナルベシ）

一 又云右ユガケノ手ノ内ニアナヲアクル事 的ノ時乙矢ヲサスヘキ為之 則乙矢サシノアナト云之 ソノアケ所ハ我カ勝手ニ乙矢ヲ持テモチヨキ処ニアクヘシ 定法ナシ

一 又云片ユカケトモカタノヘユカケトモ云マジキ之 右ユガケトハ云ヘシ 一具ユカケトハイヘドモ一ツイユカケトハイハスナリ

一 又云御所的ノ時ユカケニヌル物有ト云事ハ温石ヲ粉ニシテヌル之 一段ノ秘事之（貞丈云御所的トハ正月十七日公方ノ御所ニテ御弓場ノ御的又常ニモ御所ニテ上覧アルハ御所的之 雨フリノ日ハユカケヌレテ矢筈スベリテ筈トリカタキユヘ温石ノ粉ヲヌル之）

一　又云何ニテモカケ立ニテ物ヲ射ル時ハ右ユカケヲサスヘシトモ去前ニ記スコトク馬ヨリオリ立テ矢一ツ二ツ射ル時ハ左ヲ其マヽ置テモ不苦矢数ヲ射ヘキト思フ時ハ左ハ取タルカヨキナリソレモ一ツ二ツ成トモ大事ノ物ヲ射ル時ハ左ヲ可取前カドヨリ弓ヲ可射ト思フ時ハ勿論左ユカケヲ可差之

一　射手方聞書云ユカケハ今ノ程ハ必中ノユビ二ツヲ別ノ革ニテツカテ叶ハヌ事ト存スル間天下皆如此シ真実ノ本ヲ申サバツガサルガ本之シカルニ（軍陣ユカケノ事）ユカケノ緒ノサキヲムス

（ユカケ緒ノホムスフ）

一　フ事（小笠原）山城守ノ仕初ラレタル事之然間（小笠原）備前守モ如此シサレハ当流ニハ緒ノスヱヲムスブト申ナラハシタリ

一　又云ユガケノツギニシヽノマロニテツガズ揺ハシヽノマロニテスヘシユヒハカリツカヌ事之　貞丈云シヽノ丸トハ獅子ノ形ヲ乞ク紋ニツケタルソノ革ナルヘシ

一　諸書當用抄云ユカケサス事モ右ヨリサシ左ヨリトル之人ニ出ス時モ手ノ内ノ方ヲ合セテ右ヲ上ノ方ニ置テタヲホヒノ方先ヘ出ス之緒ヲハクリテユカケノ手紗ヲホヒノ内ニ置ヘシ

一　又云軍陣ユガケ巻フスヘ皮タルヘシ　貞丈云ウヅラ巻水巻ナドノ類ヲ云ナリ

一　弓法私書云マキフスベノユガケ誰ヽニモ似合タル之染革ハ人ニヨリテ似合ス之殊更軍陣ヘハマキフスベ可然之

一　又云無紋黒革ノユカケハ畧義之平人ハサスマジキ事之

一　又云ユカケヲ矢弓ナトニ結付ル事不可然ウツホニハ不苦　貞丈云矢筒ノ緒ニ結付ムナニ結付ル事ハアル之

一　又云ユカケニハ何革ヲモスル之但無紋紫錦皮ナト斟酌アルヘシ錦皮ト云ハオモテ皮ノ（獅子）シヽノナキヤウナル物之

一　又云軍陣ノユカケノ緒ノハシヲ丸ムスヒニスル之　貞丈云ユカケノ緒ノ端ヲムスブ事山城

守ノシ始ノルヨシ射手方聞書ニ有前ニ記

一 又云笠掛ユカケ手ノ内ヲクル之弓手斗之弓ヲ射返ス為之

一 又云軍陣ノユカケモ同前内ノ取様何モ口傳アリ

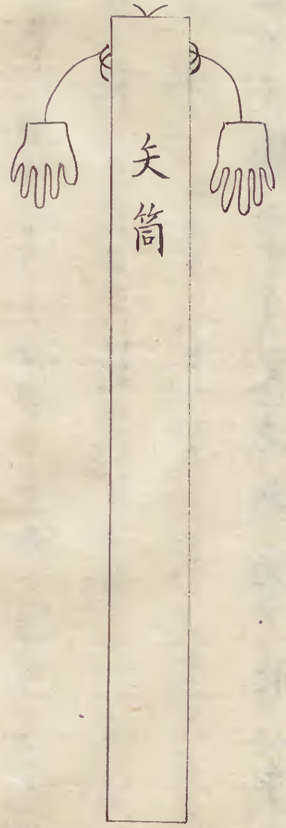
一 又云的射ル時イタツキ入ル穴ヲアクル事是モ口傳 貞丈云乙矢ヲサス穴之是乙矢ノイタツキノ方ヲサシ入テモツナリ

一 又云軍陣ノユカケノユビツグ事有ヘカラズ 貞丈云別ノ色ノ皮ニテユビツカヌヽスベテ別色ノ革ニテ指ツゲハ本式ニアラズ

一 又云ユカケノ緒ノ長サハ定レル寸尺ハナシ其人ノウデノ大サニヨルヘシ

一 弓法秘傳聞書云矢筒ノ緒ニユカケヲ付ル事緒付ノクワンニトヲシテ両方ニワナノ有ヤウニムスビテ付ル之

一 弓法私書云矢筒ノグワンヨリ上ハ凢一寸斗サリナカラ是不定セイニ依テ見合テスル之又ユカケヲ二ツユビ付ル時ハ両方ニ如此付ル之一方ニ二ツモ付ル事クツシカラス同ハカヤウニ両方ニ付ルヨシ何モ右ユガケタルヘシ



○一ユカケ緒トメ様　射御拾遺抄云ヤブサメノユカケサシ様例式ノ如クマトヒテトメ所手ノカウニ三所ムスヒテトムル口傳有之

一射御持長記云ユカケノ緒ノトメ様ノ事（カチタチノ䠒ノトメヤウニ）一巻〻マキテ上ヨリ下ヘ引トヲシ大ユヒノ内ヨリ外ヘマハシテ二巻〻ヘシ以前ノトモニ三巻〻之サテ手ノウラニテカミヨリオシカイテワナニシテ三ニ取合テヨク捻テ下ヨリ上ヘカフヘシ犬追物笠掛ノ䠒ハ大ユビニカクヘカラス三巻〻マキテトメヤウ同前外秘事ノトメ様ニアリ又流鏑馬ノ䠒ハ手ノカフニテトムル之又合戦場ヘ出䠒ノトメ様大ナル秘事之口傳ニアリ又ユカケノ緒ノサキムスフ事アル之知ル者ハアルヘカラスアナカシコ秘事〻又犬追物ノ䠒貴人ハ大ユビニカケテ留ル之

一出陣聞書云軍陣ニテユカケノ緒ノ留ヤウノ事　三所結テ手ノカウニテ留ル之マキヤウ猶口傳有之

一高忠聞書云流鏑馬ノ䠒ユカケノ緒トムル様ノ事例式三巻〻マキテ手ノ甲ニテ一ムスヒツヽ三所ニムスヒテ留ル之

一又云異足キテモ三巻〻マキテ例式緒付タル所ニテ一結ムスヒテ又手ノカフニトムル之サル間例式ヨリ緒ヲ長クスル之トメ様記スニ不及之

一又云何ニテモアレカチダチニテ射ル䠒ハ右ユカケ斗サス之其䠒ハ大指ニ緒ヲカケテ三巻〻マキテトムル之

一又云左ノユカケノ緒ヲ大ユビニカクル事アルマジキナリ
貞丈云馬上ニテハ右ユカケモ大指ニカケヌ之

一 掍テユカケノ緒トムル色（事乞）ハカチタチ犬追物笠掛具足
キテト流鏑馬ノ躰ト四色ナラテハアルマシキ之犬追物
笠掛ノ躰トムルヤウハ常ニ一具ユカケノ緒留ニ候之）
一 又云（此事前ニアリ）ユカケヲ手袋ト云事流鏑馬ノ躰ニカキリテ手袋
ドイフ之

一 鬮的聞書云カチ立ノユカケノ緒ノ才サメヤウノ事ユ
カケヲサシテ緒ヲソトノ方ヘマハシテ前ニテ上ヨリ下ノ
方ヘ通シテ緒ニカケテ夫ヲ内ヨリ大ユヒニカケテ夫ヲ
前ニテ以前マハシタルヲ又上ヨリ下ヘトヲシテ外ノ
方ヘマハシ悉皆三廻リマハシテ前ニテ上ヨリ下ヘ緒
ノアマリヲ二重ニトヲシテ能ヒ子リ合テ夫ヲ下ノ
方カラ上ヘヲシカヒテオサメ候ヘ之本式ハ如斯ナリ

ニマハシモスル是ハ略儀之緒ノ先ヲムスブ事有是ハ故
実ニテ人ノ出シタル緒ヲトヲス躰結タルサキヲトヲ
セハハヤクトヲルニヨリテ故実ニシタル儀之兵

一 弓馬故実云一具ユカケ緒ノ留様ノ事右ヘ一巻マキ
テ上ヨリ引通シテアトヘモトシテ又二巻マトヒテ又
上ヨリ引通シカケテワナニシテサキヲ餂ソロヘ大指ノ
方ヘヒ子リテ上ヨリ下ヘオシカフヘシ是モ通シカケテワ
ナニナル様ニカフヘシ但此躰ハ下ヨリカヒテモクルシカラ
ス何モ上カラナラハ上カラ又下カラナラハ下ヨリカフヘ
シカタノヽツヽ別ニハカフマジキ之後ニオシカフ躰ハ初
通シタル所ヘ大指ノ方ニオシカフ之 右ハ馬上ニサス一具
ユカケノ事ナリ

一 又云右ユカケ緒ノ留様ノ事是モ先左ヘ一巻マトヒ

一 上ヨリ引通シ扱手ノ内ヨリ大指ニカケテ又上ヨリ引通シ又右ヘ二巻マク以上三巻シテ又上ヨリ引通シカケテコレモ一具ユカケノ取ノコトクワナニシテサキヲソロヘテソトヘ大指ノ方ヘヒ子リテ下ヨリ上ヘオシカフヘシ是モ前通シタル所ヲマタゲテオシカフヘシ是ハ必定リテ下ヨリオシカフヘシ 右ハ歩立ノ取右ユカケノ留様之

一 又云式正ノ軍陣ノ取ユカケノ緒留様ノ事通ス所ニテ何モ一結ツヽ結テ留ル之トメハノ事手ノ甲ニテ留ル之此取モ一結結テ留ル之殊外秘事之

一 又云ヤブサメノ取ハ常ノ一具ユカケノ如クシテ手ノカフニテノトムル之 貞丈云ユカケノ緒トメヤウ四アリ右ユカケノ留様一具ユカケノ留様ヤフサメノ取手袋ノ留様軍陣ノユカケ留様已上四品之ヤフサメト軍陣トノ留様此二品ハ古代ヨリ秘事トスル之

一 的出張記云ユカケノ緒ハトムルト申ユフトモ申之

一 射手方聞書云カタノヽユカケノ取ハ緒ヲ大ユヒノマタヲ後ヨリ前ヘコスヘシ口傳有之 貞丈云此本文ノ前後ノ二字書違之前ヨリ後ヘコスヘシト改ムヘシ

一 又云ヤフサメノユカケハ常ノ馬上ノ如クサシテ緒ノトメ処ヲ手ノ甲ニ留ル之

一 又云ユカケトリヲクヒマナク盃トルヿアラハタオホヒヲムケリカヘスヘシタオホヒトハウデクビノ皮之

一 弓法私晉云的場ニテモ人ノ見ヌ方ヘ向テサスヘキ之（ユカケヲサス之）

一 又云ユカケヲ（カケタチノ取右ユカケ之）サス事大指ノ方ヘサシマハシテ手クビノ裏（ウラ）ノ方ノ其中ニテ上ヨリ下ヘ引通シテ手ノ内ヨリ大指ヲマタゲテ又手クビニテ上ヨリ下ヘ引通シ（手ノ甲ノ方ヘマハシテ）大指ノ方ヘ

二巻マク〈ヘシ〉已上三巻之サテ手クビノ真中ニテ上ヨリ下
ヘ引通シカケテ巻タル三ノ緒ニ取ソヘ右ヘヒ子リテ下
ヨリ上ヘ押込ヘシ又上ヨリモ押込之是ハカタノくユカ
ケノサシ様ノ事之

一 又云一具ユカケノ緒ノトメ様ノ事大指ノ方ヘ一巻マ
キテ上ヨリ引トヲシテ扱小指ノ方ヘ二巻マケハ已上
三巻之手クビノ真中ニテ上ヨリ下ヘトヲシカケテ餘タ
ル緒ノハシヲ三ツニ取ソヘテ以前ノ如クヒ子リテ下ヨリ
上ヘ押込ヘシ左モ右モ同前之

一 又云軍陣ノユカケノ緒トムル事大指ノ方ヘ一巻マキ
手クビノ上ヨリ下ヘ引通シ又上ヨリカケテワナニシテ
ワナノ中ヘ緒ノハシヲ入テ引通シ扱又大指ノ方ヘ二巻
マキテ手クビニテ今テノヤウニシテ巻テ又手ノカウニテ
今ノコトクワナニシテ是ハ引トヲシ候ハデ引トヲシカ
ケテ（犬追物之）（スナハチ一具ユカケノトメヤウ之）犬ナドノ躰ノユカケノ緒ノトメヤウノ如ク左ヘ
ヒ子リテ下ヨリ上ヘカフ之トメ様以上三様之

一 又云ユカケノ緒トムル次才（常ノ一具ユカケノトメヤウ之）犬笠掛ニ一ツ具足ノ躰一ツ
ヤブサメノ躰一ツ歩立ノ躰一ツ此四ツナラデハアルマシキ之

一 射手方聞方云ユカケハ右ヨリサシ初ル之是ハ馬上ノ躰
犬笠掛ナドノ儀之旅ノ躰モ同左右𪜈ユカケノ大ユビニ
カケサル之手クビニテ巻留之ソノ様口傳有之

○一 犬狩篭手　狩御拾遺抄云精好ヲヌヒテウツタレ（タモト也）アルヘシ後緒前緒アリ前緒ト云ハ革ノモノ也横ニシヤウブヲ付タルヲイフ也次コミ篭手ノ中五十以後ノ事也コテノ中ニ綿ヲ入タルヲ云也又ワカキ輩ナトハ紅梅モクルシカラス略之 貞丈云タテシヤウブヨコシヤウブノ事ハ皮類ノ部ニシルス

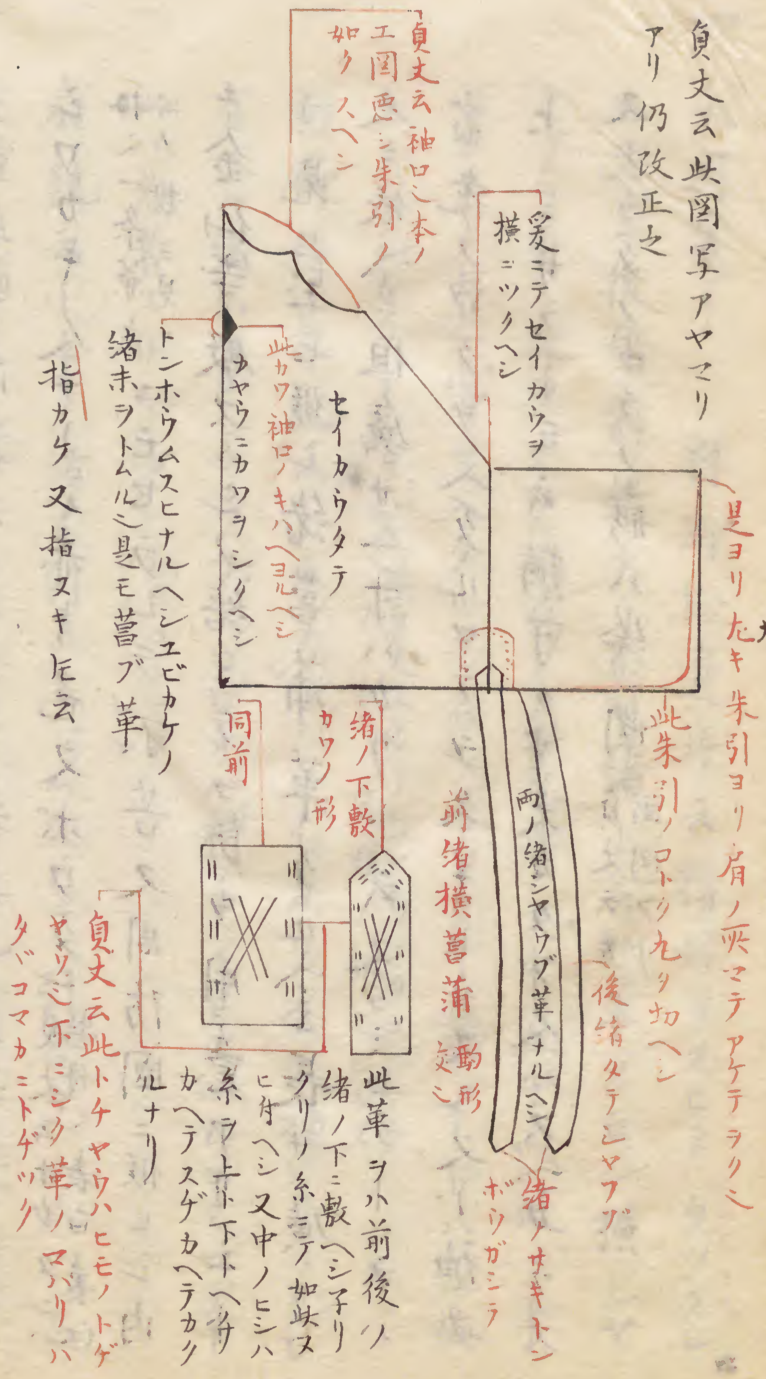
一 狩御持長記云小手ノ事セイカウ本也袖ノウツタレ有ヘシ緒ハヨコシヤウブ也ヒロサハ狩手ニヨルヘシコミコテト云ハ老者ノサス物也 私云コミコテハワタイレ也

一 扇鏡云小手ノ緒ヲハ引トキニムスヒテ引合テクムヘシ長キ緒ノ端ニテ巻テトムヘシ其下ヲ見エヌ程ニカミヨリニテユフヘシヲノ革ハヨコ菖蒲ヲウシロニ可付立菖蒲ハ前ニ付ル（トヂ糸也トヂヤウヲ云）糸ノ様口傳有

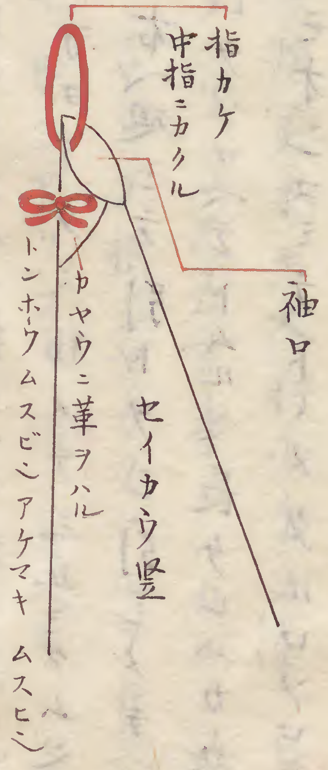
一 又云小手ノ緒ハ前後（尾カ）ニヌヒメニ付ル也後ニテトムル也（コテサシテ緒ヲムスビテスアフノウシロノヌヒメニトヂ付ル也） 貞丈云ヌイメトハ後ニテ緒ヲ結ヒ背ノ縫メニトヂ付ル也

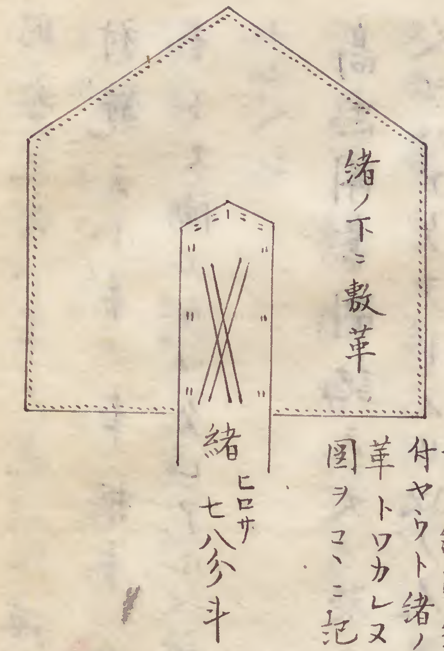
一 犬追物方聞書云コテノ事精好ヲ用ヘシウラ有ヘシワカキ人ナトハ赤キ色又ボウタン 貞丈云ホウタンハ牡丹也表白裏紅梅也一条兼良公ノ抄ニ見ユ ニモセラレテ不苦又周防國ニ候ヒシ内ニ金仙寺殿スヽシノ結ニテコテヲ用意アリシトテ見セ玉ヒ候シ緒菖蒲革タルヘシ長サ廣サハ人ニ依ヘシ但廣サ一寸ハカリト云又コミコテト云ハ宿老ノワタヲ入タルコテヲ冬ナトサス也又小袖ノ上ニモサストモ云猶可尋大カタノ人ハスヘカラス又大カタノコテノ形ハ繪図 貞丈云左ニ画図アリ

負丈云此図写アヤマリアリ仍改正之



右犬追物方聞書ノ図ハ傳写ノアヤマリト見ユルカラ朱ヲ以改定ム猶又委シカサラル所ハ別ニ図ヲ作テ左ニ記





前ノ絵図緒ノトチ付ヤウト緒ノ下ニ敷革トワカレヌ故ニ又図ヲコヽニ記ス

又如此モ有ヘシ

一 用害記云小手ノ色ハ紅梅紅白也此外ノ色如何

一 衬鏡云小手ノ事根本ハクズガ（葛布）本也近年ハ精好ヲ本トス袖ノウツタレアルヘシ緒ハ横菖蒲長サ衬手ニヨルヘシ

一 高忠聞書別記云犬ノ形小手ヲトムル事アガリタル人ヲハアゲテトムル又ノ人ヲバサゲテトムル也セヌヒノ通成ヘシヒモカハノ様ニマヅ右ヨリ手カケ結ヒテ扱又右ノ方ヨリクミ初メテ三五ニクム也トメ様ハ左ノ方ヨリ右ヘ廻シテ引トヲシ引シメテ結ヒテイカニモノハヅレヲソロヘテトムル也長ケレハカウガイニテイヅクニテモオシコミテト、メタル口ソロヒテノダニアラバ糸ニテ口ヲユウ也

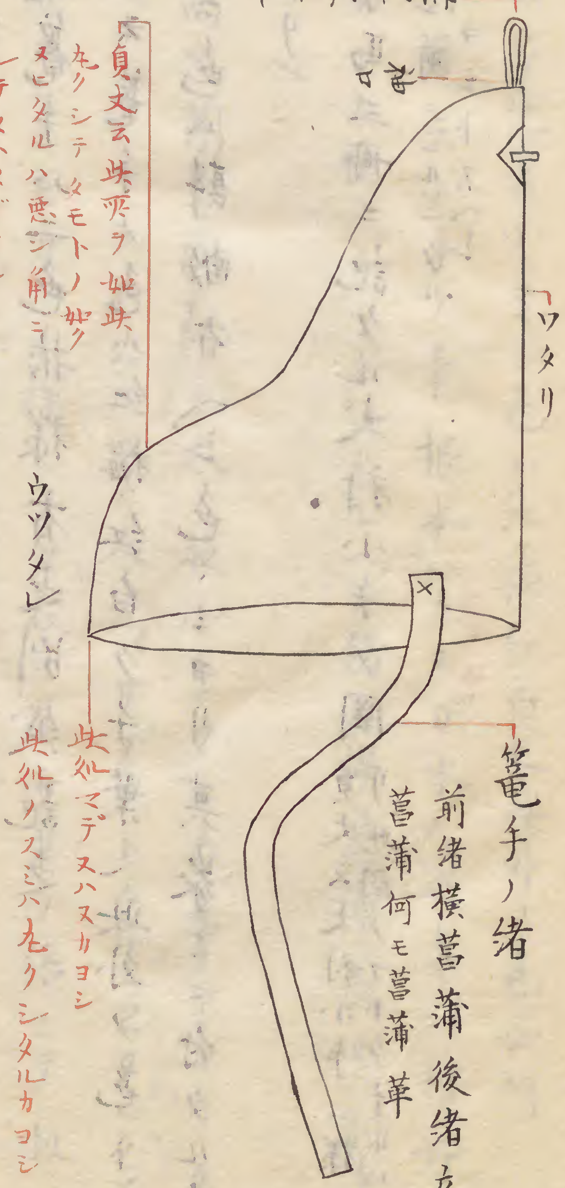
一 的出張記云篭手ノ緒ヲハムスフト申也

一 法量物異本云犬衬小手ノ事セイカウ（精好）ノ長サ六尺ハタハリハ一尺六寸斗ナルカヨシ緒ノ華アヰ革ノ立シヤウブ横シヤウフアルヲ付ヘシタテシヤウブヲ前（後ニ）横シヤウブヲ後（前ニ）ニ付ヘキ也廣サ一寸二分斗

一 又篭手ハ二色指様有之別紙記之

一 又云篭手ノ色ハ紅梅紅白クチ葉也此外ノ色トモ紫色ハ斟酌有ヘシ色〻ニヨリ其家〻ニ付タル事アリ

一 弓馬三冊ニ記タル犬衬小手ノ図 貞丈云犬衬小手ニ様アリ此図ノコトクナルハワロシ前ニシルシタルヲヨシトスヘシ



一 犬追物磨鏡云篭手ハセイカウノ白キ本之小人ナトハ赤モクルシカラス子リヌキナドニテモスル之緒ハ菖蒲革本之小人ナドニハ紫革ニテモ不苦候但畧㕝ナリ緒ノ付様口傳アリ小手ノ長サ廣サハ人ノ臑ニヨ

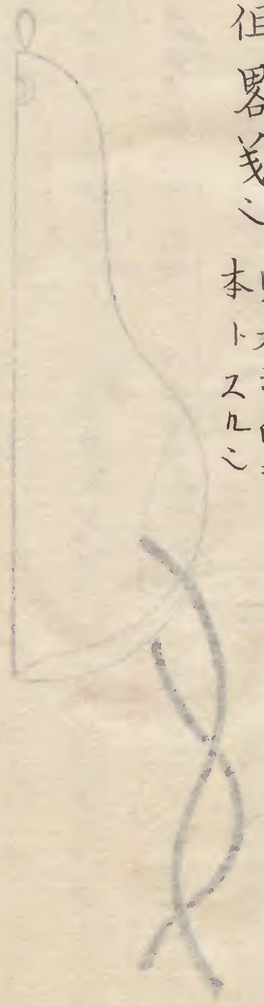
ル〈ヘシ〉同口傳アリ

一 犬追物聞書云 奈良聞書ナリ コテノ事大方如此フルキコテヲ本ニシテヌシニサヽセテ大小ホドラヒヲハカラフヘシセイカウニテスヘシ

一 犬追物馬足云小手ノ事根本ハクズガ本之近年ハ精好ヲ本トス袖ノウツタレアルヘシ緒ハヨコ菖蒲タテ菖蒲長サ紂手ニヨルヘシ

一 犬追物雑々云犬紂小手ノ支セイガウヲ縫テウツ

タレ有ヘシ前緒後緒有前緒ト云ハ革ノ紋ニヨ
コシヤウブヲ付タルヲ云後緒ト云ハ立菖蒲ノ付タ
ルヲ云之次ニコミ小手ノ事五十以後ノ事之小手ノ
一 中ニワタヲ入タルヲ云又若輩ナトハ江梅ナトモ不
苦但畧義之 貞丈云白ヲ本トスル之



○一 敷皮 対御持長記云敷皮ヲ鞍オホヒニスル㕝白
毛ノ方ヲ馬ノ左ヘ成テ敷皮ノ緒ヲ左右ノ力革ニ結
テムナカイヲモチテ右ノ方ヨリ左ヘ引マワシテムナ
カイノワナニ入テトムヘシ
一 軍陣聞書云軍陣ヘ立時ハ乗替ノ馬ニ鞍置テヒ
カスルニハ鞍オホヒヲスヘキ之鞍オホヒハ鹿ノ皮敷皮ヲ
スル事軍陣ニカキラス本式之鞍覆ハ麻皮本之女麻
ノ皮畧義之鞍オホヒスルニハ白毛サキヘ成之鞍ノ前
一 輪ノ方ヘ白毛可成出陣ノ時如此アルヘキ之又帰陳
ノ時ハ如例式白毛左ヘ成ヘシ手綱ニテ鞍オホヒヲカ
ラムヘシカラミヤウノ事手綱ヲ二ニ取テ鞍ノ前輪
ノ右ノシホテニシリカヒシカクルコトクカラミテツホノ

方ヲシホデノ右ノ方ヘチト出シテ置テサテ左ノシホテヲトヲシテサテ左ノ塩手ヲ通シテサテ後ノ左ノシホテヲ通テサテ後ノ右ノシホテヲ通シ前輪ノ右ヘ出ル手綱ノツホヘ入テホドキヤスキヤウニトムル之

一 敷皮ヘリノ事軍陣聞書云シヤウブ革ノ事ヨコシヤウブト云ハ駒ノ紋マジリタルヲ云之コレヲ前緒ト云之敷皮ノヘリヲサス時ハクシカミヨリ左（白毛ヲ前ヘナシテ敷タルトキノ左右之）ヘ成方ヲ前緒ニテサス之又タノジヤウブト云ハ菖蒲ハカリアルヲ云之是ヲ後緒ト云之敷皮ノヘリサス時クシカミヨリ右ヘ成方ヲ後緒ニテサス之是ハサウナク人無存知事之

一 出陣聞書云出陣ニ乗替ノ馬鞍覆ニ敷皮ヲスル時ハ白毛鞍ノ出輪ヘ掛ルヘシ是ハ小笠原播州被仰之佛地院モ同前ニ被申由被仰之備前殿モ出陣ノ時モ帰陣ノ時モ白毛前輪ノ方ニナル由被申由被仰之

一 又云敷皮ヲ鞍覆ニスル事白毛ヲ左ヘナシテ可掛故実セカマサシ縄ニテ左ヘ廻シムスヒ付ヘシ敵ノ大将ナト討テ帰ル時ハ白毛ヲ前ヘナシテ鞍ニオシカフヘシ

一 又云父添ナシトニシキ皮モタスル様四ニ畳テ白毛ヲ前ヘナシ折目ヲ右ノ方ニナシテ可持

一 又云的ノ時ハ白毛ヲ左（前カ）ヘナシテ敷ヘシ

一 又云床机ニ敷皮シク事マツ床机ヲ置テ其後敷皮ヲ可掛敷皮ノ置様毛ノ方ヲ上ヘナシ白毛ノ方ヲスソヘナシテ置ヘキ之

一 又云敷皮ノウラハ白布ヘリハ黒皮モ不苦欤セウブ

カハ可然寸モ廣サモ不定欤ノ由申方アリ凡可定叓
一扇鏡云式ノ敷皮ヲ笠袋ニ結付ハ笠ニ横ニツクヘシク
シカミヲ笠持ノ右ノ方ヘ成様ニツクル之
一高忠聞書別記云御的ノ敷皮ノ事長サ定ラスト仰
候同ク陣ニテノ敷皮ノ事ハ的ヨリモ丈長ク廣ハクト
被仰候ウラハ白布ニ粉ヲツケテヘリヲハシヤウブ皮ニテ
トリ候
一弓馬故実云敷皮ノ事鹿ノ皮タルヘシ秋ニモ毛トヲ星ノ
夙ミニ有カヨシ長サ三尺斗廣サ二尺程見ハカラヒテ
能程ニスヘシ但二尺三寸程モ可然乍去御的ノ敷ハ我
トタヽミ候間丈チイサキガ能之ウラハ布之白クスヘシ
ウラニハ粉ヲ付ヘシフセ縫ニスヘシヘリノ取様毛ノ方ヲ

上ヘナシテクシカミノ方ヲ上ヘナシ(白毛ノ方之)スソノ方ヲ下ヘナシテ
右ヘ成方ヲヨコシヤウブ左ヘ成カタヲタテシヤウブニテノ
ヘリヲ取ヘシ如此セスジノ通リニテモ取リ又スミノヘニテ
モ取カヘシ
一村手方聞書云ヨロヒテ床机ニ腰ヲ掛ル様是ニモ敷
皮アルヘシ鹿ノ皮之緒ツカズウラ歩之アヰ革ニテヘ
リヲ歩之的ノ敷ノ敷皮ノ如シ床机ニクシカミヲカケ
テ白毛ヲ下ヘサゲテ白毛ノ処ヲフマヘテ居之是ハ貴
人ノ儀之平人ハ歩板ヲ可掛之歩板ニモ皮ヲ敷事
ハ同シ但白毛ヲフマヘテハ居ヘカラス只常ノ如クク
シカミヲ上ヘ白毛ヲ前ヘナシテシクヘキ之ヨロヒタル
敷ハ床机ニテモ歩板ニテモコシヲカケスシテハ居サル

国立公文書館 National Archives of Japan

一 ナリ（敷皮ノヿヲ云之）白布ニ粉ヲ付テウラヲウツ之
射手方聞書云敷皮ヲ鞍覆ニスル時ハ白毛ノ方ヲ
左ヘナシテ緒ヲカ革ニユヒ付テムナカイニテ常ノ如ク
カラム之敷皮ニハ秋ニ毛ヲ用ル之是ヲアツラヘ候時敷
ト申セハ緒ヲ付ズ鞍覆ト申セハ緒ヲ付ル之布ニ
粉ヲ付テウラニキツテヘリヲアヒ革ニテトル之クシ
カミノ方ハチト丸ク白毛ノ方ハ一モンジニスル之トロメ
ンナドヲ用候ハ畧義之常モ皮ヲ可用殊ニ軍陣ノ時
麻ノ皮ヲ鞍覆ニ可用之

一 随兵日記云敷皮ノコシラヘ様麻皮ノ秋ニ毛タルヘシ但敷
皮廣サ長サノ寸法有ヘカラス是モ拵様的ノ時ノ様ニ
コシラヘヘシ

一 又云乗替ノ馬ニハ敷皮ヲ鞍覆ニシテノヒカスヘシ同敷皮ノ
白毛ノ方ヲ左ヘナスヘシ手縄ニテカラミ付ヘシ是モ口傳
有ヘシ

一 上貫抄云御的ノ敷皮ノ法量定ラス同陣ノ敷皮ニモ定
ラス陣ニテ敷ク敷皮ハ的ノ時敷ヨリモチトヒロク
長クアルヘシウラハ白キ布ニ粉ヲ付テヘリヲシヤウブ皮
ニテトル之随兵日記ニ有之前緒（ヨコシヤウブ）後緒（タテシヤウブ）トイフヿアリ皮
ハタテシヤウブヨコシヤウブト云心得ナリ

一 諸書当用抄云天子ハシトネニ御坐候将軍ハ敷皮
ニ坐セラレ候公方様虎ノ皮豹ノ皮大名ハ熊ノ皮鹿
ノ皮裏ハ錦（公方様）アヤ織（戒ノ方）右馬頭殿ニハ虎
ノ皮御免之豹ハナラヌ之鞍覆同前之貞丈云（戒ノ方トハ三戒ノ衆ヲ云）

一 敵并記云敷皮ヲ敷事スソヲ我左ヘナシ毛ノ方ヲ上ヘナシテヨコサマニ敷テカシコマルヘシ 貞丈云スソトハ白毛ノ方ナリ

一 弓法秘傳聞書云敷皮ノ事先中ヨリ竪ニ折ソレヲ二ツニ折レハ四ツ也

一 弓法私書云出陣ノ時ノ敷皮コシラヘ様的ノ時ノ敷皮ヨリ女長ク廣クシテ同白布 コノリヲ付ウラニスヘシ縁ハ黒シヤウブ皮ニテス ヘシ出陣ノ時道ノ間ハ四ツ折ニシテ甲持者ドツガヒテ馬ノ左右ニ立ヘシ

一 又云出陣ノ時鞍覆ハ敷皮ヲ拭ヘシ敷皮ノ白毛ノ方ヲ鞍ノシツ輪ノ方ヘナシテ打カケテ同白毛手縄ニテ上ヲカラミ其余ヲ右ノ塩手ニ付ヘシ又結付サルモ昔カラス帰陣ノ時ハ白毛ヲ鞍ノ前ワニナシテカラム也

貞丈云出陣ニ白毛ヲ後ワノ方ヘナストアルハ誤也スヘテ白毛ハ前ヘナシ又左ヘナス物也白毛後ヘナス事有ヘカラス前ニシルシタル諸書ノ趣考ヘミルヘシ 小笠原播州被申ケルトテ人物語仕候出陣ノ時ハ白毛ヲ前輪ニナシ打拭カラムトアリ帰陣ノトキハ白毛ヲ馬ノ左ヘナシテカラムト被申也事ノ外相違也不審 貞丈云不審ナシ コノ説ヨロシ

一 馬具寸法記云敷皮ノ事鹿ノ皮本也寸法不定但凡長サ三尺斗横一尺八寸斗也ヘリハシヤウブカハタルヘシ

馬具寸法記敷皮ノ図

オモテノ図
毛ノ方也ウラ
ハ白布也

貞丈云スソノ方ノヘリハ毛ノ下ニカクレテ見エズ

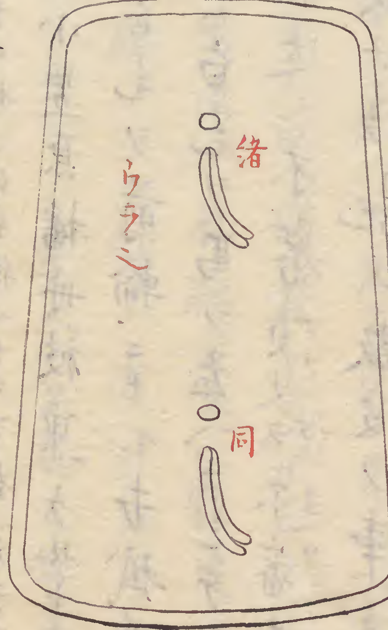
社頭ニテハクビカミヲ前ニナスベシ
タヾノ所ニテハ白毛尾ノ方前ナリ

貞丈云表裏別白毛ヲ左ニナシテ敷ナリ的ノ取ハ白毛ヲ前ニナス的ニ向也

弓馬三冊敷皮ノ図

貞丈云是ハクラオホヒニスル時ノ緒ノ付様也常ニ敷ニハ緒ヲ付ス

オモテノ方ハ替事ナキユヘ今略之
是ハウラノ図也ウラニ緒アリ



ウラハ白キ布ヲヌヒ付下ハヌヒ合ス表ウラ別也

貞丈云表裏別々トハウラノ中ニテ皮ヘ縫ツケズマハリバカリヌヒ付ルヲ云也

是ハ鞍ニ打カクル時カ革ニヌヒ付ル也

本書ニサスソヒロ也其通ニ写ス

一 射礼私記云敷皮ノ事鹿ノ皮タルヘシヘリハ黒皮ナルヘシ（菖蒲革也）前ノ緒ウシロノ緒ニテノツカヲヽサス也前緒ト云ハヨコシヤウブ也ウシロ緒ト云ハタテシヤウブノ事也ヘリノ取様クシカミヨリ左ヘナルカタ前緒ニテ取ヘシ

貞丈云左ヘナル方トハ白毛ヲ前ヘナシテシキタル時ノ左右ヲ云也

○一 引敷 貞丈云引敷一名腰当トモ云引敷ハ敷皮ノ如クニシテ緒ヲ付テ毛ノ方ヲ下ヘナシテ腰ニ結付ル旅行ナトニ用之敷ニハ腰ニ付タルマヽニテ毛ノ方ヲ土ニ付テ敷之敷皮ノ代リニ用ユ

一 武雑記云ヒツシキト申ハ常ニ付候ヲ申之豹虎ノ皮ヲハ平人ハ斟酌ノ事候三職ハ御用候ヒツ敷ハ寸法モ候マジク候乞羚(カモシカ)ノ皮タルヘシ又熊ノ皮ヲバムカシ弾正官ノ人ナラデハ御用無之候 貞丈云常ニ付候トハ腰ニ付ルヿヲ云ナリ

一 又云鹿ノ皮引敷ニ用候式ノ事何モ無覚悟候不及見候間有間敷候

一 又云ヒツシキ敷様ノ事ハ付候如クニ敷候主人ノ供ノ時庭上ニ敷候ハヽ我トモチテ罷出シキ候扱アシナカヲハ引敷ノ右ノ下ニ置ヘシ又ハキ候時ハ引敷上ニテ足ナカヲ左ヨリハキ候テ可罷立候引敷ヨリ罷出候テハキ申事ハイカヽニテ候 貞丈云付候如クニ敷候トハ毛ノ方ヲ土ニ付テ敷事之シキ皮ノ敷ヤウトハ遠ニシキ皮ハ毛ノ方ヲ上ヘナシテ敷ナリ

一 岡本記云御供ニハコシアテスル事ハ常ニハアルヘカラス長旅ノ御供ノ時ハスルヿモアルヘシ

一 又云御参宮ノ御供ナトニハ中(ナカ)帯ニ上ニ十徳キテ白キウハ帯ヲシテ扱腰当ヲシテ武者ワラシヅヲハイテ鞭神頭ウツホノ上ニサシ本ヨリ笠キテ御供ナリ弓ハ黒クヌリテ三所藤タルヘシ条々口傳有

一 条々聞書云人ノ内衆辻カタメ川役ノ時ハ小太刀ヲシモタレ候カ能候歩刀ハワロク候又ノ緒ノ付タル敷皮ヲ可被用候 貞丈云緒ノ付タル敷皮トハ引敷ノ事之 シキ様ハ我腰ニ付タル様ニ布ノ方ヲ表ニナシテ可敷緒ノ

付タル方ヲ五寸斗ウラヘ折返シテ後ニナシテ敷ヘシ常ニ五寸斗ヲキテ緒ヲトヲス所アリ腰ニモ付ヘシ式ノ敷皮ニテハ有ヘカラス又神佛ノ前ニテクビカミヲ前ヘナシ又タヾノ所ニテハ後ニナシテ可敷也

一 又云ヒツシキノ事是ハ緒ノ付タル方ヲ後ヘナシテ毛ノ方ヲ下(シタ)ニナシウラノ方ヲ敷(ウラノ方ニスルニ)ヘシ緒ノ付タル方ヲ廿内ヘ折返シテ敷ヘシ

一 寛正記云腰当ノ長サ一尺八寸横一尺二寸五分鹿皮夏毛白毛ヲ残スヘシ裏ハ浅黄ノ布黒皮ノヘリヲ取ヘシ首上ノスミニカドヲ入テ革ノ紐ヲシテ布ヲ内ニシテ腰ニ付ルヘシ

貞丈云引敷ハ元来法式ナキモノ也
右ノ寸尺モ大ガイノ分量ヲ云ナリ

此図寛正記ニ見タリ

貞丈云寛正記ニハ鹿皮トアリ武雜記ニハ羚羊皮トアリ太平記ニ畠山カ狐皮ノ腰当セシ事アリ何皮ト定リタル法式ナシ

朱書ハ貞丈加之

○一ウツホ　射御持長記云秘事ノ矢ノ吏山鳥ノ尾ニテハギタル矢ヲ持テ右ノ足ヲ先ヘフミハシメテ魔ヱシノ物ヲ射ルニシリソカズトイフ事ナシサレハウツホノミニ一二ハサス事也ト云リ大ナル秘事也

一又云ウツホヲ付ル事サノミウシロヘマハスヘカラス尻篭ヲオヒタルニ似テワロシ矢ヲ出シニクキ物也前ヘ引廻シテ鞍ノ前輪ニカマトノアタラス程ニツクヘシウツホノハ子タルハ見ル処ヨケレ氏矢出シニクク馬ヲモカケ出セハ矢ミナヌケオツル也歩ニテハ走ル時ハ矢ヌケテ足ノカフニアタル也（矩ノ字ニマスグナルヲ云也）カ子ヨリハチトハ子タルカヨキ也

一又云ウツホニ矢ヲ七九十一サス也征矢トカリ矢ヲハ下ニサシテ上ニカリマタヲ右ヨリノ方ヲアケテサスヘシカリマタハ白篦羽ハ四立筈ハフシハスナトサラサスヘシ麻ナト（本ノマヽ　寛云トハリ字ノ誤也）射タル時射トヲシテ論事羽ウラヲ引アケテ見ルニ血付ナリサレハウラニカハヲウタヌヿ也又ヤリ羽ト云ヿカブラトカリマタトニカキリタル名也

一岡本記云ウツホニヒケシロナトカケヘシ

一又云ウツホヲモ北西ヘムカヘテカケ置事ハユメゝゝアルマシキ事也

一又云当世ウツホノケシヤウムスヒナト申テ色ゝアリコレ本説ニアラサレハ中ゝシルスニ及ハス

○一又云コシウツホナトヽ申候事ナシ

一又云ウツボニドヒヤウナトヽ申候モナシ　貞丈云其頃ヨリトヒヤウ世ニアリシ故ドヒヤウナドヽ云ハ本式ニナシト云心ナルヘシ

一 又云カゴウツホナト、ナヲシ申候テハクルシカルマシキ事ニテモ候ハン哉猶口傳在之 貞丈云トヒヤウ、ウツホヲカゴウツホナト、イヒナヲシテハクルシカルマジキカト云心也

一 又云ウツホ付テ弓ヲ人ニ持セ候事悪シウツホ付ル程ナラハ弓モ我ト可持之

一 又云ウツホニカケ始タル皮ハカ〔鹿〕ノコノ皮也八幡太郎殿ノ御代ヨリノ事也

一 又云ウツホノフタニ別ニ名アルカノ叓マフサギト申ヘシ

一 又云猿ノ皮ハモトヨリウツホニカクル也ヱンカウノ皮モ公方様ノ御ウツホニカヽリタルヨシアリ口傳ニ有之

一 又云ウツホニカケヌ皮ノ事ニクヽ〔羚羊〕、シマウシ〔水牛〕、子コノ皮、カラ〔唐〕カハ〔皮〕ニテハヒツジ〔羊〕、コレラハカケヌ物也又狸ノ皮ナトヲ人ノカクル事是又サラ〱本式ニアラス

一 又云ウツホヨリ矢ヲヌキ出ストモイフヌカリ出ストモ云委口傳有 貞丈云カリ出ト云本ナリ

一 高忠聞書ウツホノ根本ハカマドキヲウツホトテ付タル也ソレヨリ前ハナカリシ也タヾ箙シコナドオヒタルガ如シサルニヨリテ矢タ子尽(ツキ)ヽタルヲヤガテ人見ル間何矢ヲサシタルヲモ人ニシラセズ矢ヲ射尽ヽタルヲモ知ラセジガタメニ昔ノ人ノ故実ニテ当代ノウツホノ如ク作ナシテ色々ノ皮ヲカケ来ル也ソレヨリウツホニハ何皮ヲカクヘキトモサダマラザル也

一 又云ウツホヲ付ヘキホドラ井ノ事矢負タル如ク付レハ後ヘ廻リ過テ矢ヲ出シカタク見テモワロキ也又アマリニ前ヘヨリタルモワロキ也カドニ可付又カシラ高

ニ付レハ矢モイダシカタク馬ハセマハレハ矢モヌクル之殊ニ
歩立ニテ矢ヌクル段ハ足ノカフニモ矢タチ出シ入モワロ
シス（矩之）カ子ニ付タルガワロシ見ヨキ程ニ付ヘシ

一 又云ウツホノ緒ノ事ウツホニ付タルヲバ子ヲト云後
ノ腰ニアタル緒（華几）ヲバコシカハト云ソレニ付タル緒ヲバウケ
緒ト云ウケ緒ヲ通ス前ノ緒ヲバカケ緒ト云之

一 又云征矢ヲハ負フト云ウツホヲハ付ルト云

一 弓馬故実云ウツホニカクル皮ノ事虎ノ皮平人斟酌
スヘシ常ニハ猪牽又ハ熊子ツフアサラシナトノ様ナル（或本ニ子ツフノ傍ニ獾ノ字ヲ付タリ 獾ハクジ）
（カトヨム牽ノコトクニテ小クテ角ナキモノ之）
皮ニテモヨシ又サキバカリ毛皮ニテカマトノ方ヲ或ハ
青漆或ハ赤漆ナトニヌリテモ不苦又摠ヲ毛皮ニテ
モヨシ大略ホソウツホハ先ヲ猪皮ニテカマド青漆ナド
ニスル之（負丈云ホソウツホハ騎馬ウツホトモ云）

一 又云ウツボ付テ白木ノ弓持事晴ガマシキ段ハユメユメ
有マジキ事之ヌリ弓ニテ的射ル段ハ略シテモコシラ
ヘ様ニテ射ル事ナレトモウツホ付テハ白木持事ナシ

一 又云ウツホノ事騎馬ウツホホソウツホト云尓去ホソ
ウツホト云カ能之（負丈云騎馬ウツホトハ毛皮カケタル云コレヲハホソウツホトモ云之毛皮カケサルスリウツホヲハヤマトウツホトイフナリ）

一 的出張記云ウツホヲハ一ツ二ツ又二十三十ト申ヘシ一ホトハ
不申候ウツホニ掛ル皮ヲハカケ皮ト申ヘシホウガハトハ
不申候

一 又云ウツホノミト申ヘシウツホノ子（コ）トハ申サス候

一 又云ウツホノ子（コ）ト申ハ當流ニテハ太刀ヲ申之秘事

ナリ　貞丈云ウツホノ内ニ小太刀ヲ入ル成ヘシ

一　上賢抄云ウツホノミト云事ハ有ヘカラスウツホノ征矢トハ云ヘシ　貞丈云ウツホノミトイヒハスレモワロキナルヘシ

一　又云ウツホニカクル皮何トモ定マルヘカラス昔ハカマドハカリニ矢ヲ指テ射タルニ矢ヲ射ツクシタル所ヲ人ニ見セジトテ皮ヲカケテ射タルヨリ今ノウツホ是ナリ

一　ホガワト云事有ヘカラズ

一　諸書當用抄云ウツホヲハ家ノ内ニテ付ズエシニテ付ヘシ

一　書札并雑々聞書云ウツホヲ人ノ借リ候ハヽ矢ヲバヌキ置テカスヘキ之

一　供立日記云ウツホノ付様ノ事老者ハシリタレニ付ラルヘシ又若キ人ハシリ高ニ付ラルヘシウツホノカマド馬ニ乗サマニヒザニツカヱサルヤウニヒザカトヘ押廻シテ可付之

一　又云雨フリノ時ハウツボヲアラ縄ニテ結事有之但笠ヲサス程ノ時ハ結間敷事笠ヲモ持サランシ時ハ可結之　貞丈云雨フル時ウツホヲアラ縄ニテ結事ウツホノシタヽリ来テ衣服ノヌレルユヘ腰皮ノ上ノ通ヲアラ縄ニテ二重モ三重モ廻シテカタクユヒヲケバ雫前ヘ流レ来ラザル之笠ヲサセハウツホヌレヌユヘアラナワニテユウニ不及ナリ

一　色々請取渡之事云ウツボノ実ヲサシタランヲ借用ナドシ候時ハ封シテ遣事有之封目ヲトクヘカラス第一フカクタルヘシ

一　又云タヾウツホト申ハ騎馬ウツホノ事之常ノウツホハヤマトウツボト申ヘキ之　貞丈云騎馬ウツホハホソウツホモ云毛皮ヲカケタル之ヤマトウツホハ毛皮カケスウルシヌリタルウツホノコトナリ

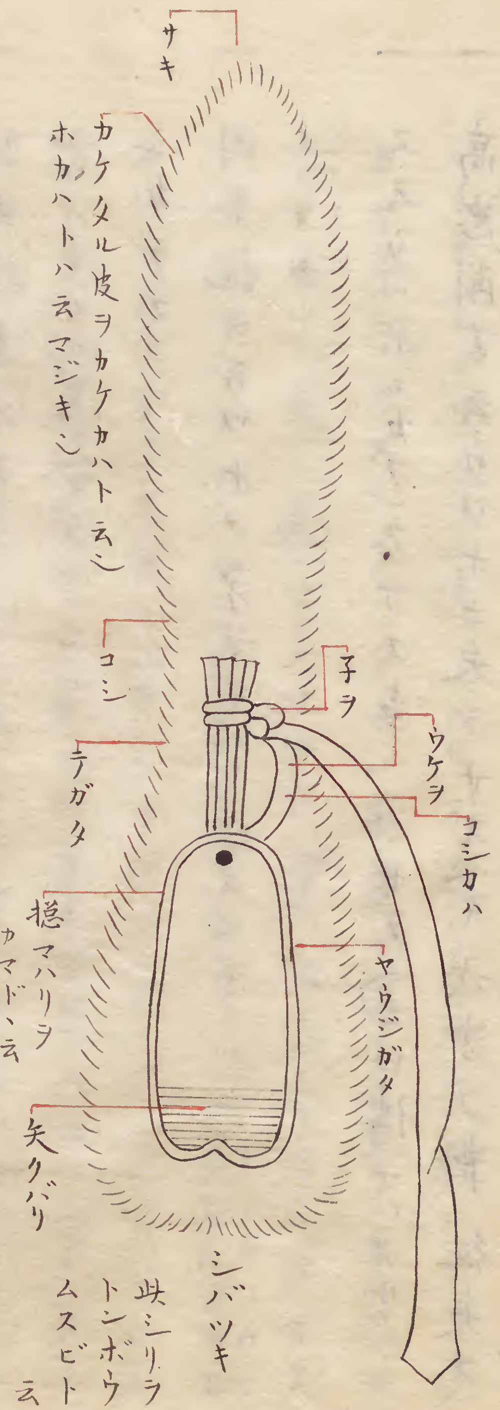
一 弓法私書云ウツホヲハ付ルト申物之箙ハ負フト申ヘキ之

弓法私書ウツホノ図

一 又云ウツボノ名ノ事 子ヲ コシカハ ウケ緒 カケヲ
カマド マフタギ 矢クバリ 此外ハ名ノアル所ナシウツ
ボヲ 一トホ 二タホト云事アルヘカラズ唯一ツニツト云ヘシ

一 高忠聞書別記云ウツホノヲノ事 長キ緒ヲハウカラヲ
ト云ユヒ付ル所ヲハカケ緒トモ云之

弓馬故実ウツホノ図



一 弓法秘傳聞書云騎馬ウツホトハイハズ只ウツホト斗
云之ホソウツホト不云之

一 又云或說云ウツホノホトハ不云ウツホノカケ皮ナト、
云之カマドハカマド、云ヘシ

○一ウツホニ矢サス様　射御拾遺抄云ウツホニ矢サス事
七九十一ナトナルヘシサシ様ハ征矢トカリヤナドハ下
ニサシテカリマタヲ才ヨリノ方ヲアケテ上ニサスヘシシ
ゼン又一ツカブラヲサス吏モアリソレハカリマタノウヘニ
中ニサス也

一射御拾遺抄云ウツホノ上ニジンドウサス事三五ナルヘシ
二ツハサスヘカラスタトヒ二ツサス𪜈ムチヲサシソヘテクル
シカラス、

一岡本記云ウツホノ才マゼハギニスル事ナシ貞丈云ウツボ
ホニサス
矢ノヿ也
ノミトハウツ

一又云ウツホニカフラサス事一ツサスヘシ口傳コレアリ

一高忠聞書云ウツホニ矢ヲサスヘキ次才ノ事　征矢ヲ
ハイチ下ニサス也二通リニモ三通リニモ矢数ニヨリテ
カサ子テサス也イクツトハ不定也但十ハカリ十二三マ
テノ事也矢ノ数サタマラヌ也其上ニカリマタヲサス
ナリカリマタハ二モ三モ才寄ノ方ヲアケテサシカサ
ヌル也カブラハサスニハカリマタノ上ニマシ中ニ一ツサス
ヘキ也又征矢七九ナド半ニアル時ハウツホノ外ノ方ニ
カサ子テサスヘシサシカヘストイフ事ハ此儀也又カブ
ラヲサス時ハカリマタノアハヒ女アケテサシテマシ中
ニ鏑ヲモサス也カブラハ一ナラテハサヽヌ也又云ウツボニ
矢ヲ六ツサヽヌ事也ウツボニカギラズジンドウキボウ
ナド小者ニサヽスル時モ六ハサヽズ当流ニムヤトテイム也

一又云ウツホノ上ニジントウサスヘキ事　貞丈云ウツホノ上トハウツ
ホノソトニ腰ニサス也腰サ

（シノジンドウトモ云也）ニモサスヘシ鞭ヲサシソヘヘキ也ムチヲサヽズ
シテジンドウ一手サス事アルマジキ也又ジンドウ三
モサスヘキ也四サス時ハムチヲサシソヘシムチヲサヽ
ズシテ四サス事有マジキ也又神頭一サシテ鞭ヲモサ
ス也タトヒ神頭ヲサヽズ𪜈ムチハサスヘキ也ウツホヲ付
テムチヲサヽヌヿハ有マジキ也能々心得ヘシタトヘムチ
ヲサスト𪜈神頭六サス事有ヘカラスムチヲハ必サス
ヘキ支ナレ𪜈シゼン神頭半サス時ハ神頭一三五
ナトサスヘシ神頭二四六ナドハムチヲサヽデサス事
有マジキ也キボウナドサス時ハ神頭サスト同心得
ナリムチトジンドウトサス時ハムチヲ身ニソヘテサ
スベシ又ウツボヲ付テハムチ半サス事可然也コトニ年

寄ナドシカルベキ也又云神頭ヲハ我サスカサナクバ小
者ニサヽスル事也サルニヨリテウツボニハイレヌ事也但
雨ナトフル時ハウツボニ入タルモクルシカラズソレモ略儀
ナリ遠矢ナト入テモ不苦又云四目ヲハウツホノ上ニ
モサスヘキ也又小者中間ニモサヽズベシ数ハジンドウ同
事也

一又云ウツホニサス矢トテコシラヘヤウ別ニハナシ征矢ヲサ
ス也ウツホニサシタルヲ見タルガヨキトテスケブシヨソ
ロヘテスル也定レル法ハナキ也

一扇鏡云矢七九サス時半ナルヲサシカクスト云サシ
カサヌル𪜈云也

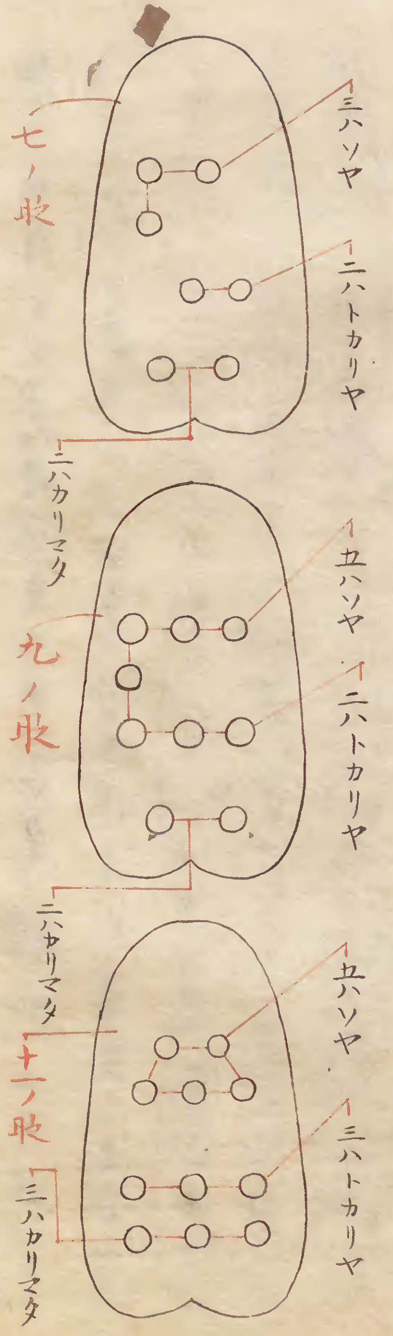
一高忠聞書別紙云ウツホノミサス様数ハ七九十一サス

一

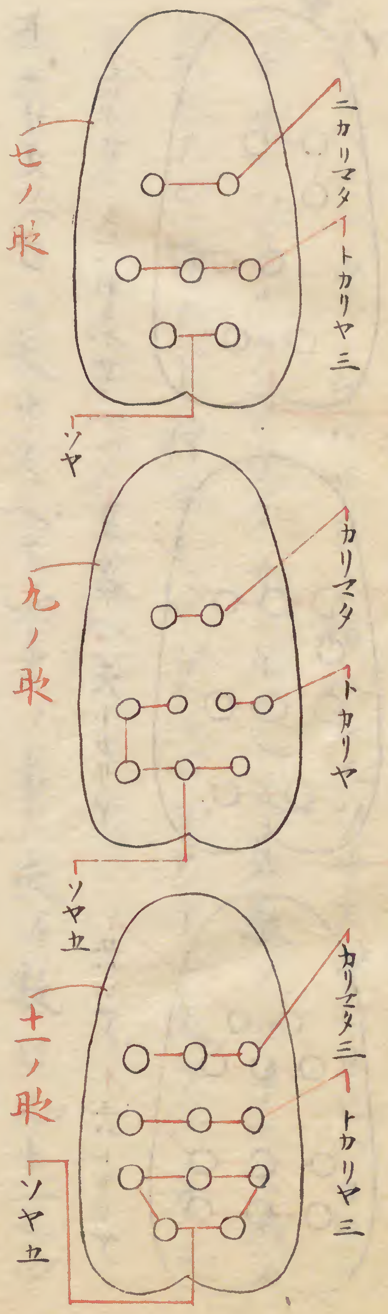
ヘシ身寄ヲアケテサスヘシ又カブラヲサシ添ル事カブラヲハマン中ニウハサシニ指ヘシ三ツサス中ニサセハカブラニモサヽハリナクテヨクサヽルヽ之又其数ノウチニモ我カ氣ニアヒ物ナド紂ヨキヤウニ心ヨセナル矢ヲハ才ヨリカタノウヘニ一ツサスヘシ

一 又云ウツボニ矢サスヘキ次第ノ事 矢ノ数七九十一之四月ヨリ九月迄カリマタヲ上ニサス十月ヨリ三月マテハカリマタヲ下ニサス 貞丈云カリマタハ物ヲ紂切ノ矢之四月ヨリ九月迄ハ人ノ衣服ニアハセ又ハカタヒラニテウスキユヘカリマタニテ紂切ヤスシ故ニ四月ヨリ九月迄ハカリマタヲ上ニサス之又十月ヨリ三月迄ハ人ノ衣服ワタ入ヲカサ子キル故アツクシテワタヲ入ルユヘカリマタニテ紂切カタシ征矢ニテ紂ヌクヘシ故ニ十月ヨリ三月迄ハカリマタヲ下ニサス之当服専入用ノ矢ヲ上ニサスヘキタメナリ 七ツノ服ハカリマタトガリ矢二ツ征矢三之ソヤトハ九根トガリ矢ドハ今テノケンジリヲ云ヘシ 貞丈云九根トハケンジリ柳葉ナドノ如クニテ中ニシノギノカドヲ立ズシテ丸キヲ云又本文トガリ矢トハケンジリヲ云ヘシトハ誤ナリトガリ矢トケンジリハ別之 九ツノ服ハソヤ五ツトカリ矢二ツカリマタ二ツ十一ノ服ハカリマタ三ツトカリ矢三ツ征矢五ツ之是ハ揔テ大法ノ数之此外多クサセトモサス様有ウツホニサスヘキ次第ノ事 是ハ四月ヨリ九月マテノサシヤウ

一 又云ウツホニ遠矢サスヿ才ヨリノ方ニサスヘシカリマタハ上ニサスヘシ



是ハ十月ヨリ三月マテノサシヤウ



一 又云ウツホノ中ニ遠矢ジニドウクルリナニトヲサシ添ハ羽ノ方ヲ下ヘナシテサカサマニサスヘシ自然ノ取ヌキチカヘヘキ為之

一 弓馬故実ニ云ウツホニ矢サスヘキ様ノ事他流ニハ四季ニサシ様替ルナトヽ云更ニ当流ニ其儀ナシ次第〳〵ニ牙寄ノ方ヲアケテサスヘシカリマタモ牙ヨリノ方ヲカタノ一アケテサスヘシ

一 又云矢数ノ事七ツ九ツ十一ニ七ツノ取ハ先カリマタ二ツ九根五ツ九ツノ取ハ九根七ツカリマタ二ツ但九根六ツニテカリマタ三ツモサスニ十一ノ取ハ必九根八ツカリマタ三ツ成ヘシサシヤウ口傳 貞丈云九根ハ征矢ニヤナギ葉マキノ葉ナトノルイノ中ニシノギヲ立ズシテ丸クスリタルヲ九根ト云

一 又云馬上ニテウツホノ上ニ神頭サスヘキ事数ハ三二一ツモサスヘシ但宿老ナトハ一ツサシタルモヨシ若キ人モ一ツサシタルハアマリ至リタル様ニムチヲ牙寄ニサシテジンドウヲソトニサスヘシウツホノマン中ニ有様ニサスヘシ三ノ取ハ兄矢二ツ又二ノ取ハ兄矢弟矢一ツノ取ハ兄矢ヲサスヘシ又矢頭ヲサヽスシテ鞭斗サス取ハソ

一 レモ鞭ヲウツホノ上ニナル様ニサスヘシ貞丈云ウツホノ上ニ神頭サストスハウツホヲ付テソノ上ニジンドウヲ腰ニサス事之サレバコシサシノジンドウト云之

一 又云ジンドウヲウツホノ上ニサシテウツホノ内ニサス事ハナシ但略義ニハサモ有ヘキ歟

一 又云ウツホヲハ付ルト云之又云ウツホノ矛トハ征矢之

一 又云ウツホハ一ツ二ツト云之他流ニハ一(ヒト)ホ二(フタ)ホト云ナキ事之

一 又云ウツヨリ矢ヲカリ出シテナト、物語ニモスルヽ箙ヨリハヌキ出スト云之

一 又云四目ヲウツホノ上ニサス事ナシ但コレモ野山ナドニテ晴ノ躾ニテナクハクルシカラス御供ナトノ躾ハ無用ナリ

一 弓馬聞書云ウツホニサス矢ノ数ノ事七九十一ニテサス之七ノ躾ハ征矢三ツカリマタ二ツトガリ矢二ツ已上七ツ之九ツノ躾ハ征矢五ツカリマタ二ツトガリ矢二ツ以上九ツ之十一ノ躾ハ征矢九ツカリマタ三ツトガリ矢三ツ已上十一之サスニ口傳有当流ニコトナル秘説之

一 上貫抄云ウツホノミト云事有ヘカラスウツホノソヤトハ云之ウツホニサス矢トテ定ルヘカラス征矢ヲ数ヲ定テサス之

一 法量物異本云ウツホノミノ事白箆ニテ有ヘシユメヽヽサハシタルハ有間敷之但征矢ナトハ少ヽ不苦カブラヲハサスヘキ事之数ハ九ツヲヨリノ方ヲアケテ三通リニサス之但数ハ七九十一ナルヘシサス次才ハ別ニ記之

一 書札并雑々聞書云ウツホニ矢ヲサスハ才ヨリヲ次第ニ上ニ子ヲサスヘシ五七九カリマタ上ニ二サスヘシ子ヲ六ハサスマシ惣別六ハ矢ヲ持マシキ也（貞丈云無矢ヲ忌之）

一 弓法私書ウツホニサス矢ノ仕様トテ別ニアルヘカラス征矢ヲサスヘキ事ナレドモ常ニハスゲブシヲソロヘテノコヒ篦ニスル也羽ノ付様ナド征矢ニ同前スゲブシヲソロヘテ拵テサセバ見タル所ヨキ也根ハ丸根ニテモケンジリニテモ又丸根剣尻取合テモスゲヘシカリマタハ二ツモ三ツモ五ツモサス也

一 射御持長記云ウツホニ矢ヲ七九十一サス也征矢トガリ矢ヲハ下ニサシテ上ニカリマタヲ才ヨリヲアゲテサスヘシカリマタハシラ篦羽ハ四立筈ハフシハズナドサテサスヘシ康

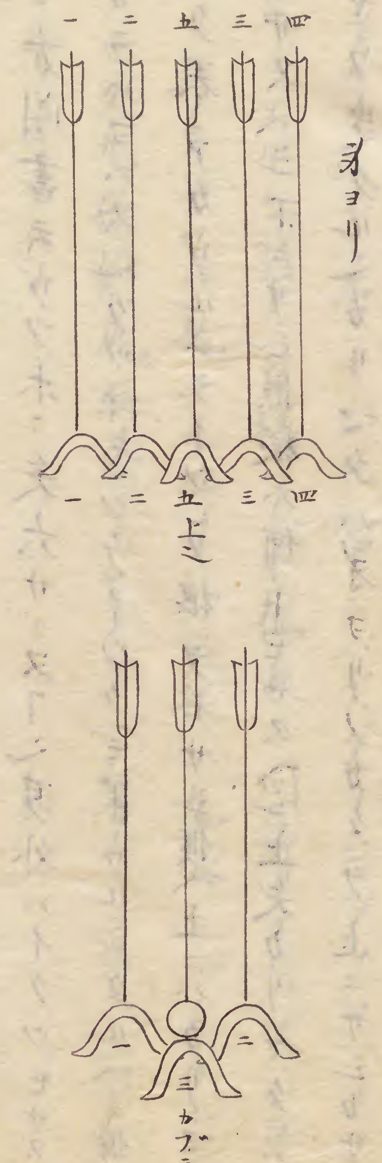
ナト射タル時射トヲシテ論争羽ウラヲ引アケテ見ルニ血付也サレハウラニハカハヲウタヌ事也又ヤリ羽ト云事カブラトカリマタトニカキリタル名也

一 射手方聞書云ウツホニ矢六サヽヌ事也其外ハイクツモサスヘシカラハヨハズ也クツマキツケイツクモ黒ウルシタルヘク候但子タ巻アカウルシ也イツレノ根ヲモサシ候ヘ上ニハカリマタヲサスヘシ下ニサシ候根ハ何トモサスヘシ上矢カリマタノサシヤウ定タル也カリマタハ才ヨリノカタヲ上ニサシカサヌル也タトヘハメトリ羽トヤラン申ガコトシ才ヨリトハ我右ノカタナルヘシウツボカラシラノニハセザル也

一 弓馬三冊云ウツボニカブラヲサスヤウ先スカリマタヲ三ツ常ノ如クカサ子テ女間ヲ廣クカブラノ二ツノ間ヘイルホ

トニ其上ニカブラヲ一ツサスヘシ是何モカリマタノサキヲ
羽ヨリヲアゲテ上サスベキ也揃シテウツホニカブラハ一ツサス
ナリカブラヲサス時モ矢数七九十一也カブラハ此分也

如此カリマタノ手先次羽ニ羽ヨリヲ上テサス也



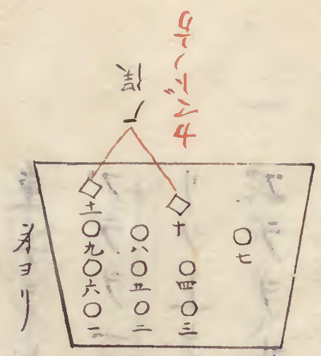
一弓法私書云ウツホニサス矢ノ数ノ事七モ十一モサス也九モサ
ス也カリマタハ二モ三モ五モサス也カブラヲモサス事アリ

一又云矢ノサシ様ハサシ初ル所ハウツホノ右ヨリサシ初テ次
羽ニ羽寄ヲ何モ上テサスヘシカリマタモ一ノウチニテ
カタノヽノ手サキヲ下ケテ羽ヨリノ方ヲハ上ケテサス也
カリマタハ二モ三モ五モサセ揃ノ矢数ハ七九十一ニ過ヘカ
ラスカリマタヲ多クサス時ハ先九根ニテモケンジリ
ニテモ別ノ物ヲ雁俣ノ数ニ合テノケテサスヘキナリ
七サス時カリマタヲ三ツサヽバ別ノ矢ヲ四サスヘシ九サス
時カリマタヲ三ツサヽハ別ノ矢ヲ六サスヘシ十一サス時ハ
俣三サヽハ別ノ矢八ツサスヘキ也又カリマタヲ五サス時モ
此心得ナルヘシ七サス時ナトハ一ノ俣ヲ五サヽハ悪キナリ
九十一サス時ハ苦カラス何レニテモサシタキ矢ヲ多ク
サス也狩ナトノ時ハカリマタヲ多サス也又遠矢ナト

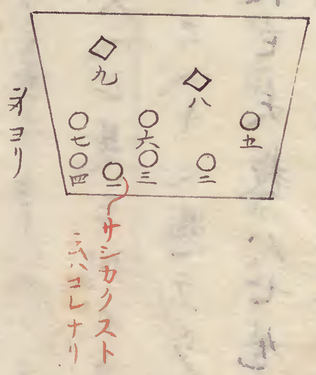
サシタキ眹ハ下ニサシカクシテサスヘキ之矢ハ九根ト厂侯トヲサスケンジリト一ノ侯トバカリモサス又九根数ジリ厂侯ヲモサスヘシ何モクルシカラズ九サス眹ハ㐧ヨリ一サシカクスヘシ矢ヲハ次㐧ニ㐧寄ヲ上ケテサセ左サシカクス矢ハ㐧ヨリナレドモ下ゲテ下ニサシテモ苦カラス是ヲサシカクスト云之厂侯三サス眹モ次㐧ニ重子㐧ヨリヲ上ケテサス之矢クバリノ内間イクツニテモアレ同程ツヽ間ヲ置テアケテ（隔）サスヘシ何モ大カタ繪図ニシルス之

弓馬三冊ノ図モ如此

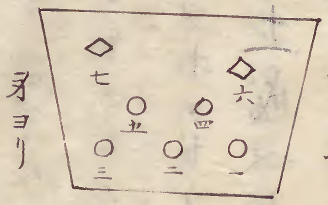
十一ノ眹



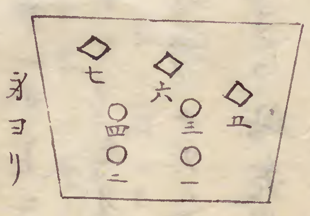
九ノ眹



七ノ眹

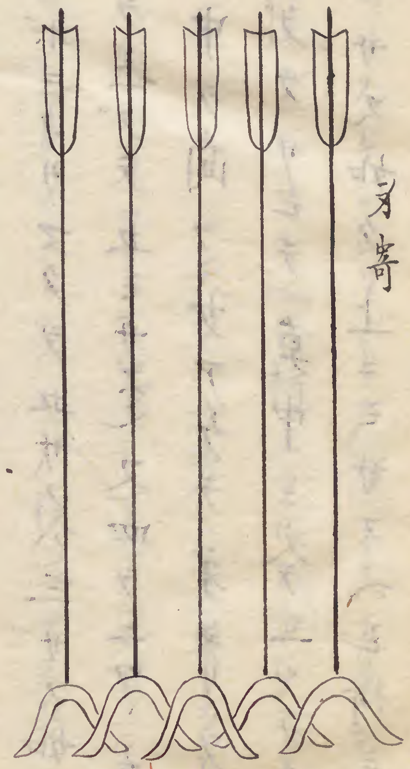


七ノ眹厂侯三サス八如此



一 又云ウツボニカリマタヲ五サスハ三サス如クニ次㐧ノヽニ㐧ヨリヲ上ゲテ五モサス之又四ヲ二ツヽ重子テ両方ニサシテ中ヲ間ヲ少アケテ㐧ヨリヲバ何モ手先ヲモ上ゲテサシテ真中ニ今一ツノカタマタヲカブラヲサス如ク上ニモサスヘシ何モ㐧寄ヲ上グヘシ是ハ將ナドノ眹厂侯多射ル眹ノ事ナル

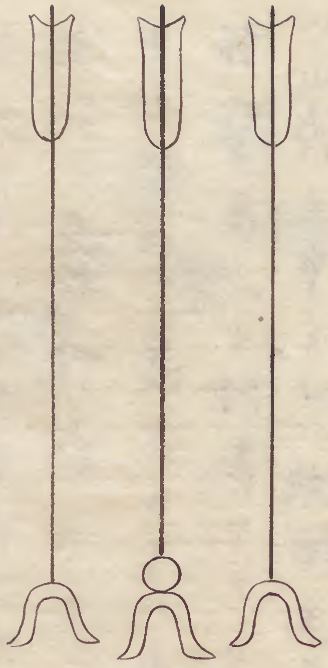
ヘシ



一 又云ウツホニカブラヲサス様マヅスカリマタヲ二ツ常ノ如ク重子テ其間ヲ廣クカブラノ手間（アイ）ヘ入程ニサシテ上ニカブラヲ一ツサスヘシ是モ何モカリマタノ手サキヲモヲヨリヲ上ゲテサスベキ之惣テウツボニカブラハ一ツサス之カブラヲサス時モ矢数ハ七九十一成ベシカブラハ此矢数ノ外ニ一ツサス之九サス時カブラサヽハ矢数十。十一ノ時

十二七ノ時ハ八ナルヘキ之

一 又云カブラハウツホニサスヘキ事之サレ圧箙ニサシテモ不苦之



貞丈云右ノ本文ニ箙ニサシテモ不苦ト云詞ハカブラハ本ハ箙ニサヽザル物ナレ圧箙ニサシテモ不苦ト聞ユ、是アヤマリナルヘシ古軍ニハ箙ヲ負フヲ本式トス合戦ノ初ニハ必矢入ノカブラヲ射ル此カブラハ箙ノウハザシノカブラ之シカレハ箙ニカブラヲサス事本式之

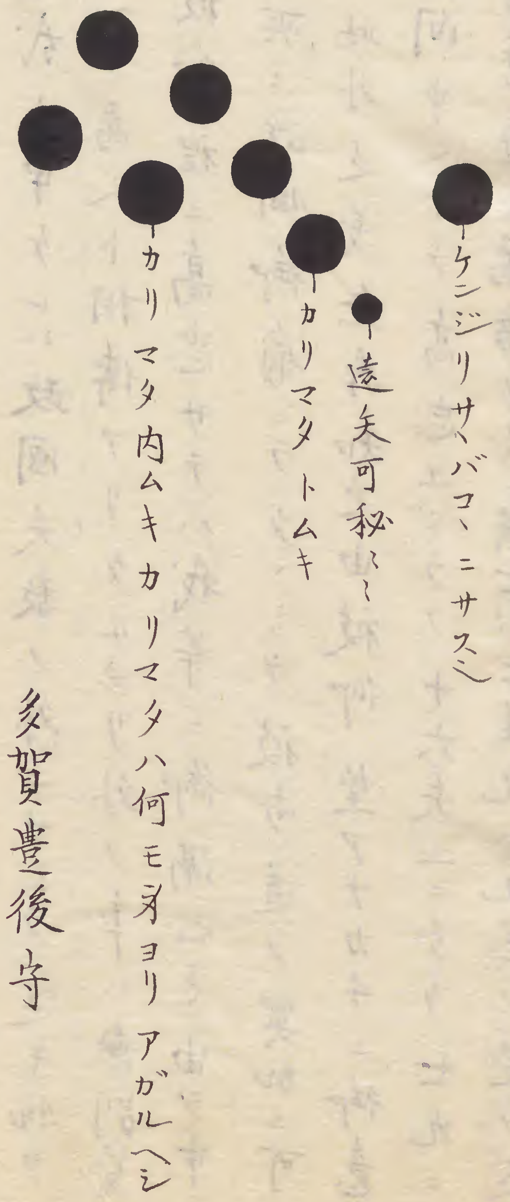
一 八廻日記口傳云的矢ヲ一手ウツホノ底ニ入事子細ノ儀コト之ウツホノミノソコニコレヲ入ル之一段ノ秘説之的矢ヲ陰陽ノ矢ト云其陰陽ヲ秘事トスル義之又云物ヲ射ルニハ何モ射アテント思フ事勿論之但別テハヅサジト思フ物ヲ此的矢ニテ射ル之其故ハ

的矢ハ平生的ヲ射テ能〻射覚ヘタル物ナル故ニト云〻
又云イツクニテモ自然的アラシ時モ我射ナレタル的
矢ニテ射シ為ニサス事モ有之何モ〻此キヅカヒ人
ノ無左右不知秘事之陰陽ノ矢ト云ハ

宗庸云已下落文ナルヘシ依テ白紙ヲ残ス

一當流聞書云高忠細川政國ヘ參リ雜談ニ申豊
後守遠矢ヲウツホニサス事ハ何ソ御相傳御坐候
ツル哉ト申ケレハ政國矢數ノ外ニサシテ遠キ物ヲ
射ヘキ為之ト相傳アリタルヨリ外ノ事ハ無別義
由被仰程ニ高忠サテハ我等ニ御隔心之由ヲ申
候處ニ政國御扇ニテタヽミヲ被打道ノ冥加ニ可
有此外之義無存知之由被仰　望アナカチニ御意
候間申之トテ高忠エビラノ十六矢二ニ分ケ七九ニ
サス事誰モ覚悟ノ事ニ候七ハ七星九ハ九星ノ星ヲ表
シタル物之中ニモトリワキ七星ノ軍陣ニ用事不珎
也七星ノ内ニ小星肝要候遠矢ハ小星ヲ表シタル
義ニヨツテコヽヲ秘事ト申候申上処ニ政國是非

ヲハ無御意料紙硯メシヨセラレ矢ノサシ様ノ繪圖
ニカヽセラレ高忠ニ被判セ御感不少候ツルト親
申テ候ヲ物語申之（高忠ノ子 多賀新左エ門尉）経家被申分其繪圖



文明十一亥年六月九日

多賀豊後守 高忠判

○一 逆頬箙 衬御拾遺抄云ヱビラハサカツラヱビ
ラ本也シコ（矢壷）、カハ（革箙）ヱビラナトハ畧義之但衬手ノ好ク
ラバクルシカラス

一 衬御持長記云ヱビラハサカツラ本之シコカハエビ
ラナド略義之

一 高忠聞書云征矢ニハカリマタヲハサヽヌ事ナリ
負文云 兵征矢ト云ハヱビラニサス矢ヲ云 オヒソヤト云之何ヱビラニテモ同シ

一 又云征矢ヲバオフト云ウツホヲバ付ルト云之 負文云 兵ソヤ
モ同前之征矢ヲ負ト云ヱビラヲ 負トハイハヌ了之是即箙ヲ負之

一 随兵日記云オヒ征矢ハ廿五矢本タルヘシ又ハ廿矢
モ十六モ有ヘシ箙ハ井ノシヽノサカツラヱビラ本
タルヘシ但廿矢十六矢ノ時ハツ子シキノ箙タルヘシ

貞丈云サカツラ箙ハ箙ノ正面ト左右トヲ毛皮ニテ包ムヿ也毛サキハサカサマニ上ヘ向フ正面ノ毛ハ両方ヘナヒキテ左右ノカトヘ向ヒ左右ノ脇ハ毛サキ直ニ上ヘ向フ左右ノ脇ヲ頬ト云人ノ面モ左右ノソバツラヲ頬ト云ツラトハ頬ノヿ也猪ノ毛皮ニテ包タルヲ猪ノサカツラト云熊ノ毛皮ニテ包タルヲ熊ノサカツラト云也サカツラ箙ヲ式正ノヱビラト云

一 次ニ矢ニ付ル上帯ノ事紅タルヘシ長サハ八尺斗ニスベシタハ子様矢ノ付様口傳アリ 貞丈云矢ニ付ルトハヱビラニ付ルト云事也矢ノ付様トハヱビラノオヒヤウト云事也

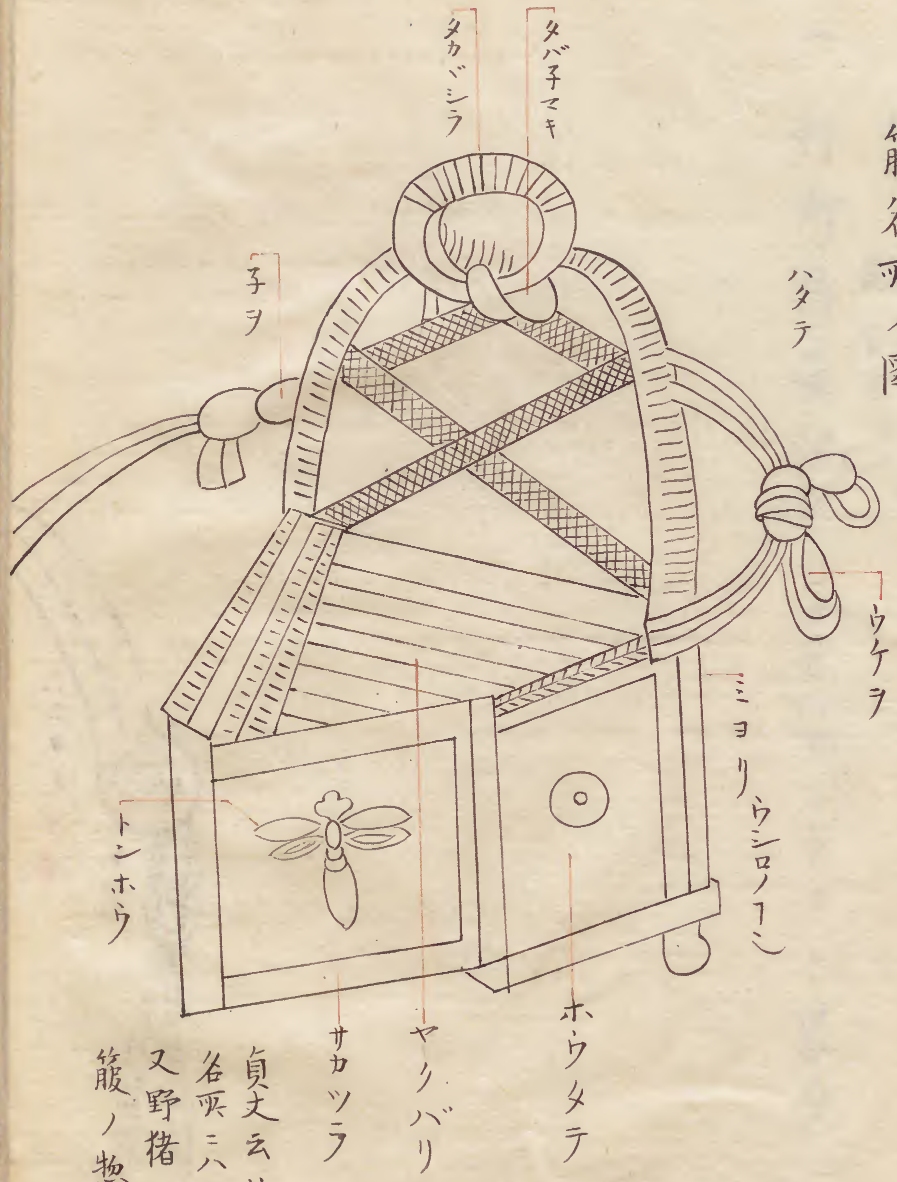
一 又云随兵ノ取廿五矢ノ中ニ人ノ家ニヨリ所望ニ依テカフラ一ツサス事モ有猶於（小笠原）当家ハ尤トガリ矢ヲ一手可用也

一 弓法私晷云箙ニサカツラ箙サヽ箙カリ箙ト云アリサカツラ箙本也

小笠原浄元持長

弓矢名所記

箙名所ノ図

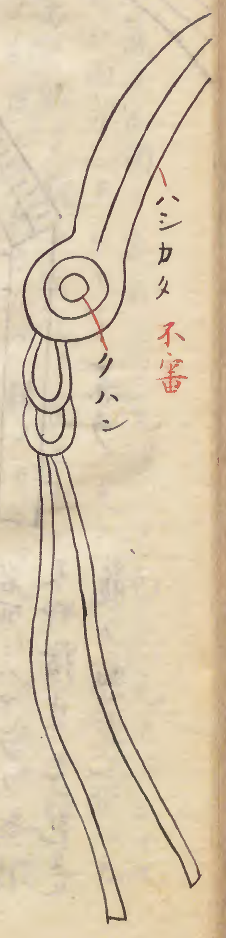


貞丈云サカツラト云ハ名所ニハアラズ熊皮又野猪皮ニテ包タル箙ノ惣名也

○一 華箙 袝御拾遺抄云シコ華エヒラナトハ略歟

ナリ サカツラノ条見合スヘシ

一 袝御持長記云シコカハエビラナト畧歟之 サカツラノ条可見合



○一 サシエビラ

一 弓法私晉云 サシエビラ 貞丈云 板ニテ笞ノコトクサシザツトウルシニテヌグヒスミ〳〵ハ黒クキテウメンヲトリタルヽ 前後ノ文サカツラエビラノ条ニシルス

○一 狩箙 貞丈云カリエヒラ𪜈カリヤナグヒ𪜈 ○又云狩ノ時ニ用ルシヽ箙𪜈シヽヤナグヒトモ云ユヘ此名アリ 狩トハ鹿カリノコトナリ

一 弓法私書カリエビラ 前後ノ文サカツラエビラノ条ニ記ス

○一 箙ニ矢サス 同矢タバ子 弓法私啓云エヒラニ矢ヲ
サス事 廿五矢ヲハ五五トサス廿矢ヲハ四五トサス之
廿矢ハサル程ニワロクサセバヒシニ成之四サス方ヲモ
心ニテ廣ク五サス方廣サ程ニサセバヨキ之十六矢ヲ
バ四四トサス之何モ矢ヲサスニハオツトリノフシノ目
ヲ外ヘムケヌ様ニサス之箙ノウケ緒ノツク方ヲ矢
クバリノ竹六斗ヅヽ間ヲ置テ上ノ矢クバリノ革
ニテ結付之サス一ハ外ムキナルヘシ扨惣ヲサシテ上ノ矢
クバリヲイタメ皮ニテコシラヘテ両方ニ穴ヲアケテ矢ヲ
タバヌル革ノ下糸ニテ結付ヘシ其上ヲタハヌル之タバ子
革ハ黒皮之革ノサキヲトンボウカシラニ切テ両ツナ
ニ結テ置之タバ子所ハ箙カラ一尺二寸斗上ヲ結也

一 箙ノ矢モツ所ヨリ六寸斗上ヲタバ子タルガヨキ之タバ子皮
ノ廣サ五分斗長サハ矢ヲ三巻ヽマキテミジカノヘトヒ
モナド結様ニ結之結メ矢ノ表ニアルヘシ矢クバリタ
バ子革ノ下ニアル之又十六矢ナドノ取羽ノ方ヲヒロ
ケント思ハヾサシ所ヲ廣クサスヘシ返ヽ矢ヲサス
取オツトリノフシノ目ヲ外ヘナサヌ様ニ内ヘムケ
テサス之何モ四ツノカドニサス矢ヲバ走羽ヲ角(カド)ヘ
ナスヤウニサスヘシ左様ニサセバオノツカラオツト
リノフシ目中ヘムク之

一 又云エヒラニ鞭ヲ結付ル事ハ故実之具足ノ上帯ニ
サセバヌケニクキ程ニ箙ノヘ(ワキノカランカニノヤウナル処之)ウデト高カシラノ下ト
ニニ所ニ紙ヨリニテ鞭ノサキノ手寄ニナル様ニ

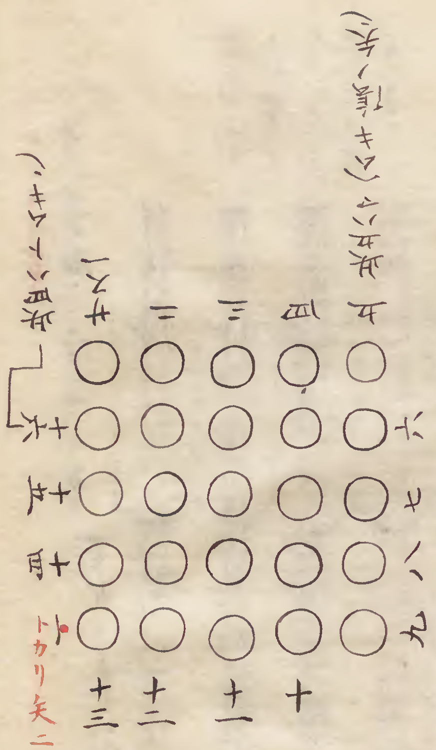
結付ルヽヌク取ハ下ノ結目ハカリトキテ下ヘヌクヽ
貞丈云ムチサキヲ上ヘナシトツヽカヲ下ヘナシテウデヌキノ緒ヲモトツヽカト一ツニヱビラノウテニ結付ヽ

一 狩御拾遺抄云征矢ノユヒ夾根ノスゲギハヨリ一尺二寸黒皮ニテ結ヽムラサキ革斟酌スヘシ

一 狩御持長記云ソヤノユヒ夾スゲギハヨリ一尺二寸黒革ニテユウヽ又云征矢オヒテハ必ムチヲサシソヘシ

一 軍陣聞書云矢タバ子革ノ事黒革本之革ノ廣サ五分之カ子ノ定メ長サ不定矢ニヨルヘシ三巻マキテ面ニテヒホムスブコトク結ヘシ革ノサキトンホウガシラニ切ヽ矢タバ子ノ高サノ事根ノサシギハヨリ上ヘ一尺五寸置テ矢クバリノ上ヲユウト本日記ニアレ㐂ソレハ餘リニ高クテハズノ方スバリテ悪キ之餘程ニ見ハカラヒテユウヘシ抜メ革ニテ矢クバリヲシテ其上ヲユウヘシヱビラシコ一番ニサス矢一ツヲ黒革ヲホソクタチテイカニモヨク引テヱヒラニ可結付ユヒヤウ女ムスビ之付事肝要之事ノ外ノ秘説也
貞丈云一番ニサス矢一ツヲ革ヲホソクタチテヱヒラニ結付ルト云ハ是俗ニ云粋ノ矢之此矢ニイタメ革ニテコシラヘタル矢クバリヲ結付テ矢ヲサス之矢皆サシテ後矢クバリノ外ヲ矢タバ子ノ革ニテ結之

一 狩詞記廿五矢サス図



十三 トムキ之馬鎮

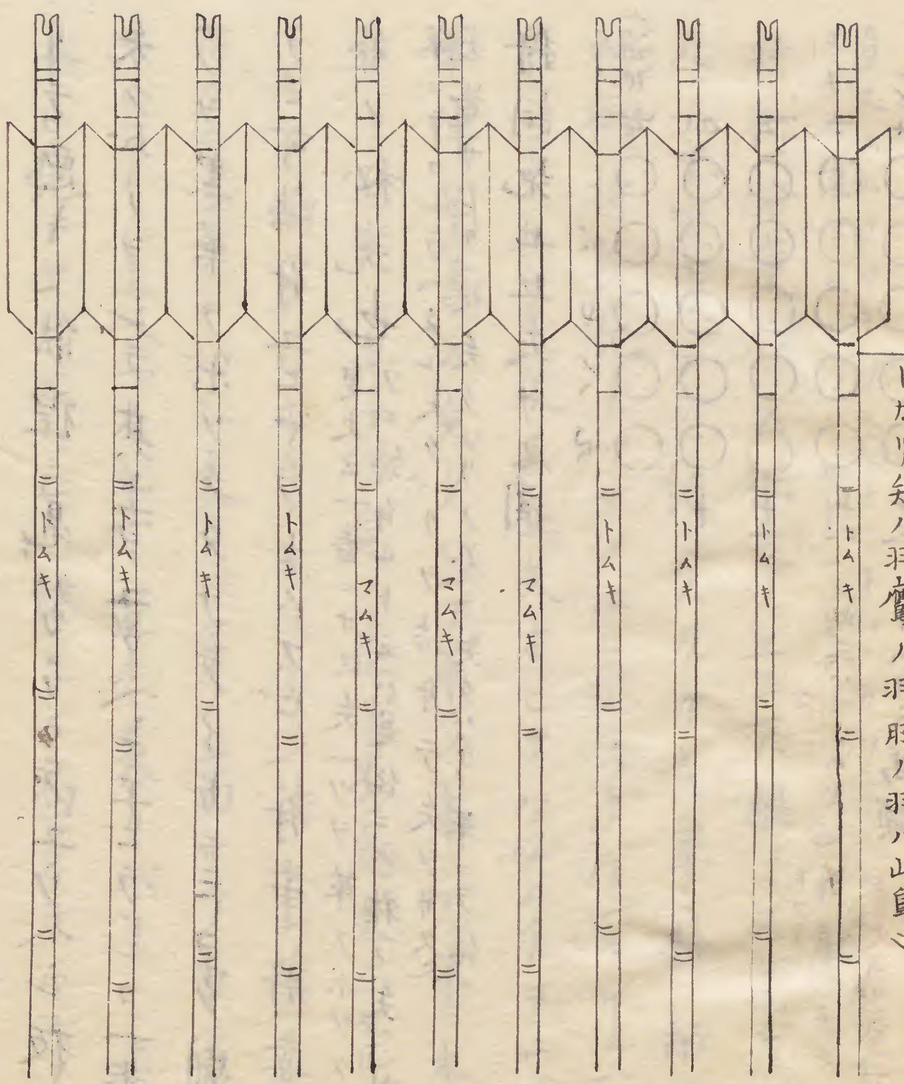
十二 此三ハヤ(ムキ之)馬鎮(カブラ)

貞丈云カブラ二ツ是上サシ之

トカリ矢二 貞丈云是中サシ之

（一本ニ云ミツ根ハ日本ノトキモミ）

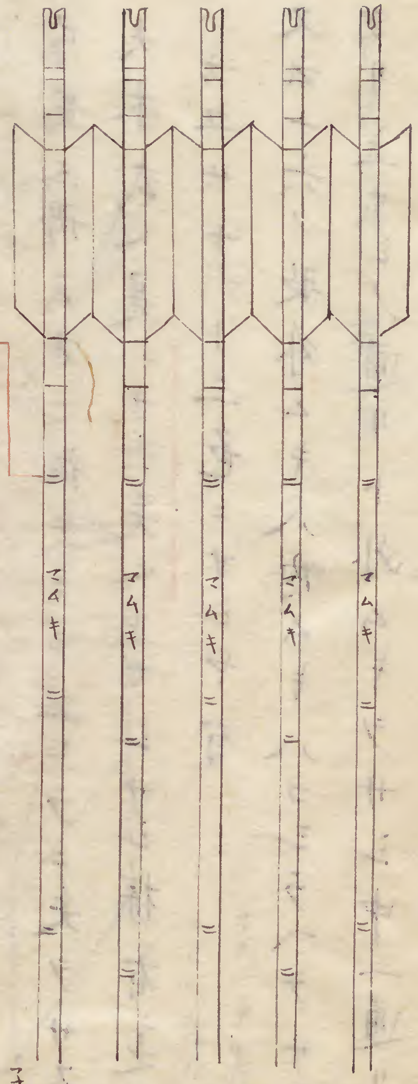
羽タケ四寸
五分 筈マキ
三分 上ハギ
六分 下ハギ
一寸一分



十六　十五　十四　十三　十二　十一　十　九　八　七　六

十三カド矢
矢ヲモテ
九カド矢

トガリ矢ノ羽鷹（タカ）ノ羽䳄ノ羽ハ山鳥也



五　四　三　二　一

サス一
子タ巻六分
クツマキ一寸六分

此五ハ身ソヒ矢

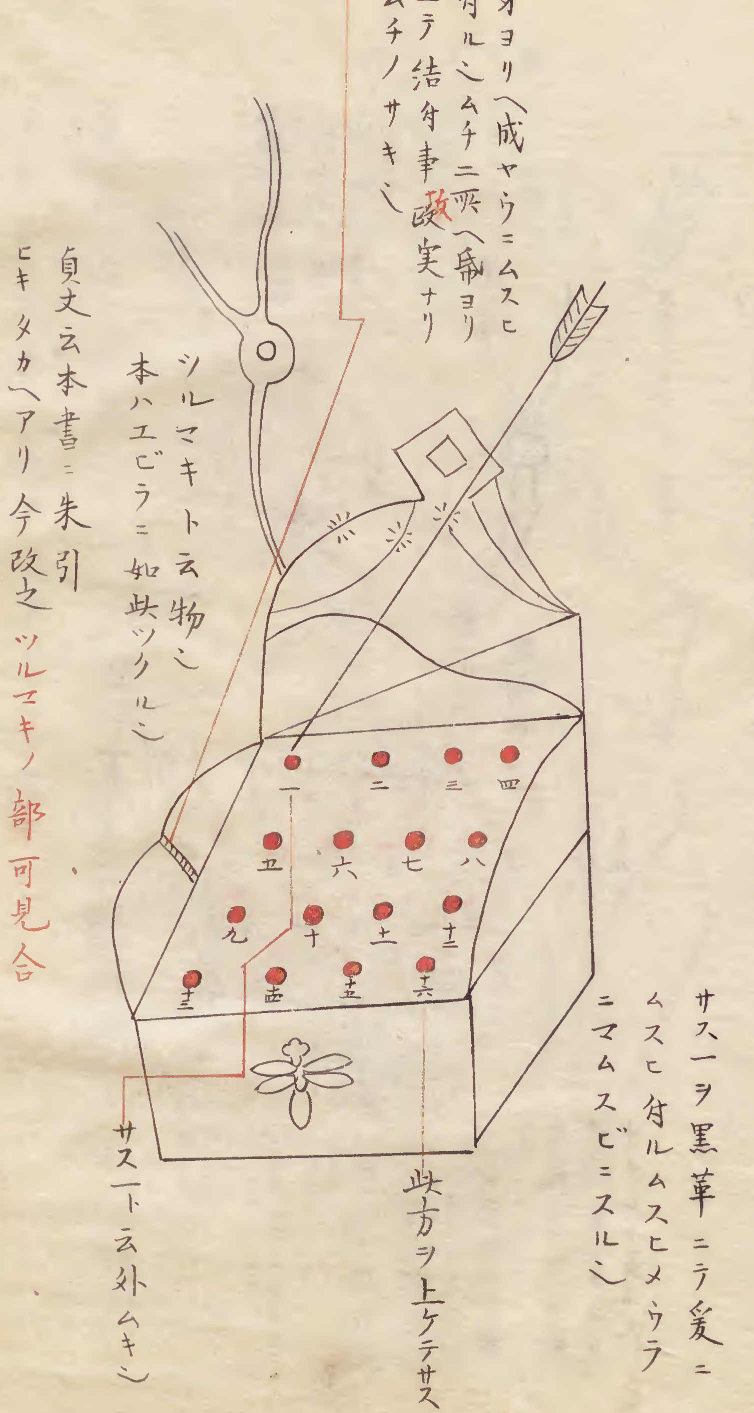
貞丈云征矢ハオツトリノフシヲシヤクリスト云是オツトリノフシ皆ソロヒタリ其外ノフシハソロエルニ不及也

一 弓法私書云征矢ノ事廿五矢本也或ハ廿矢十六矢タルヘシ廿矢十六矢ハ略義也廿五矢ノ数ナラテハ上サシト云有ヘカラス略義ニハ上サシヲサヽザルナリ

一　弓法秘傳聞書云才ヒ征矢サシ様ノ事廿五矢サス時ハ五五廿五トサスヘシ矢クバリ一ツハサメニサス才ヨリアガリニ指ヘシ廿サス時ハ四五廿ト矢クハリ三ツバサメニサスヘシ四ツヽ五トヲリニサス之十六矢ノ時ハ四四十六トサス之矢数スクナキ時ハ三ツハサメニサスヘシ但同通リニサシ候ヘハ矢ヌケテワロシ矢数ヲツモリテハサメテムラノナキヤウニサスヘシ

一　弓馬三冊云才ヒ征矢トテエビラニ矢ヲサス事廿五矢本式之是ハ十六矢之上サシサシ様有之矢ノサスハ廿五廿十六ト三色ニサシヤ有

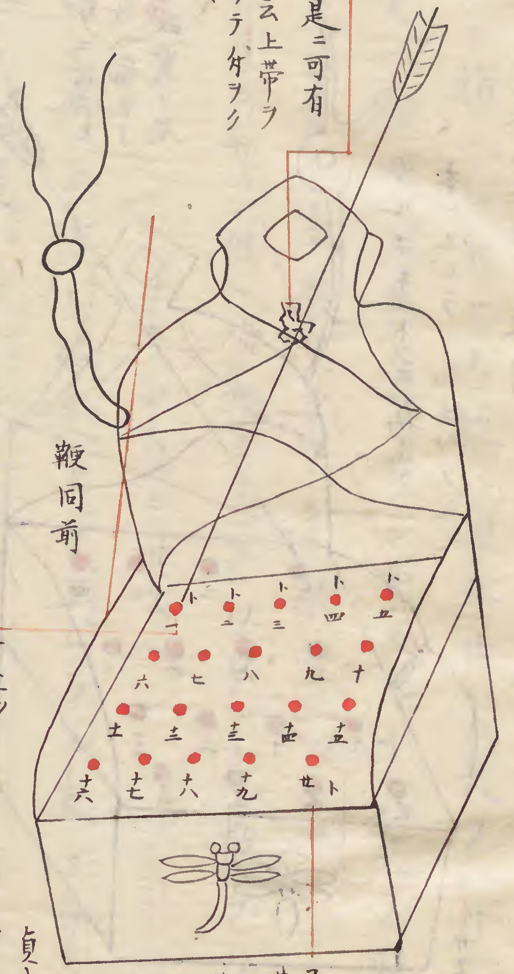
一　又云十六ノ時外ムキ八内ムキ八コシラヘテサス一ノトヲリ上サシノ通リト外ムキヲサシ中ニ通リニ内ムキヲサスモ有リ



一 又云廿ノ矢

上帯ハ是ニ可有
貞丈云上帯ヲタグリテ付ラクト云

一 又云廿五矢ノサシ様



鞭同前

サス一ツトムキ

コナタヲ上ケテサスヘシ

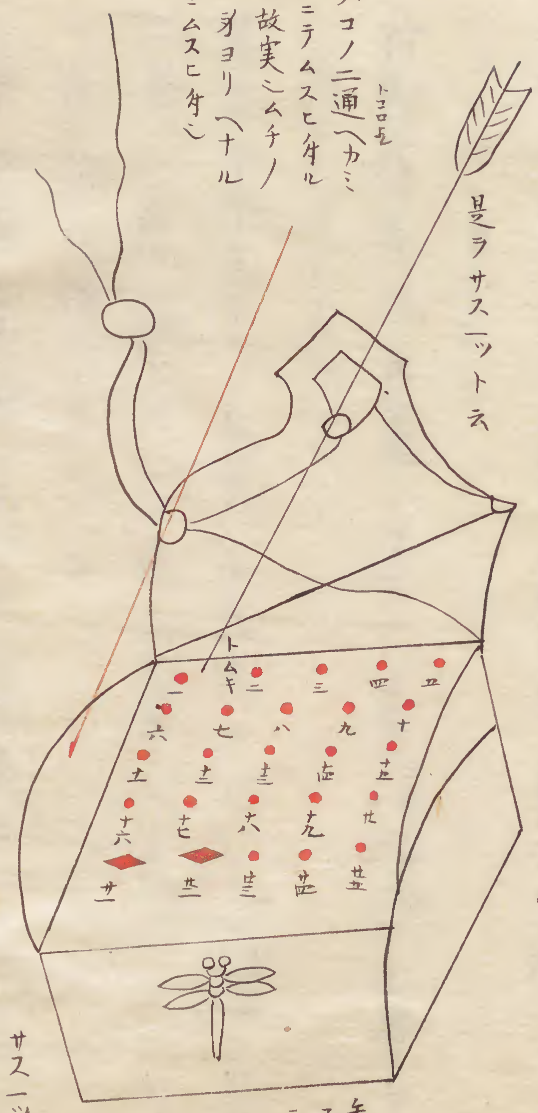
廿矢十六矢ノ外ハ上サシ有ヘカラス中ニサスヲ何モ中サシト云

貞丈云トガリ矢ナトヲ中ニサスヲ中サシト云トし

鞭ハコノ二通（トコロ是）ヘカミヨリニテムスヒ付ル
是ハ故実ニムチノサキ羽ヨリヘナル様ニムスヒ付ヘし

是ヲサス一ツト云

サス一ヲ是ヘ皮ニテムスヒ付ヘし黒皮ニテ付ヘし
ムスヒメノ方マムスヒニスルヘし



サス一ツトムキし

矢ノサシ様
コナタヲ上ケテサスヘシ

矢クハリ一ノ矢ヨリ二三四五マテノ間ハ横六七八九マテ
ノアヒノハテヘヨコノヲ下一置

○一　箙上帯　射御拾遺抄云箙ハサカツラ（中略前見）上帯
ノ事ハ家〻ニカハレリ是モ当家ニ上帯ヲヒクト云
ハソノマヽカクル之

一　射御持長記云箙ハサカツラ本之（中略前ニ見ユ）上帯ヲ引ト云
ハ其マヽカクル之

一　随兵日記云オヒ征矢ハ廿五矢タルヘシ（中略前ニ見ユ）矢ニ付ル
上帯ノ事紅タルヘシ長八尺斗ニスヘシタバ子様矢
ノ付様口傳アリ

一　弓法私呑云上帯タバヌル様長ヲ五寸ニタバヌル之
返シ〱数ハ九ニモ七ニモスル之トメ様ハ二巻〻マキテ
カタ〱ノワキニテ下ヘ引トヲシテ同長サニ引ソ
ロヘテ扱両方ヘハシニ小緒ヲ同糸ニテホソク歩テ

付テヱヒラノ矢モツ亦ニ尻ワナニ結付テ末ヲ三ツ組
ニ組テ置之上帯ノトメ亦ノ結目ハ才ノ方ヘ成様ニ
付ヘシ上帯ヲタバ子ル處ハ尺八ノ様ナル竹ニ上ヲク
クリテタバ子ヌルガ能之上帯ノ大サハ大方具足ノ袖
ノ結ノ大サナルヘシ代物六七十目ニテナリ是丸クセシ之
貞丈云上帯タバヌルトハ上帯ヲタグリ結テ置ク事ヲ云タバ子テヱビラノタカヾシラニ結付置ク之

一 大追物政清記云ヱヒラノ上オヒ一丈一尺二寸歟

○一 矢保呂 射御拾遺抄云矢ホロノ事絹或紗ナドモクルシカラス是モ色不定ハズノ方一尺二寸ホコロバカス其キハヲアカキ糸ニテモ又ハ赤キカハニククク、リ糸ニテアルヘシモユウ之ヱビラニカクル處ハフクロノコトロキ革ヲカサ子テモユウヘシモシナドハ其才ノ好ニシタカフヘキ之

一 射御持長記云矢ホロノ事紗ニテモ何ニテモ射手ノ好ニスヘキ之上一尺二寸ホコロハカシテ其キハヲ革ニテモ組ニテモユフヘシスソニク、リヲ入テ矢ヲ引入テ矢ユヒノキハニテユフヘシ

一 軍陣聞書云矢ホロノ事 十六矢ハ二ハタバリ廿矢廿五矢ニハ二ハタハリニワリニテ可入ナリタレハ一尺二寸之

タカバカリノ定ウツタレ一尺二寸ノ分ヲハヌフマジキ之
但ワリノヽ分ヲハカタ〱ヘヌヒ付ヘシスソノクヽリノ分
ハカリ之（同前之）矢ニカヽル分ノ長サ寸タレヲノケテ矢ツカノ
長サニスル之矢ニアテカヒテ拵ヘシ但○廿五（廿矢）矢ノ取ハ矢
矢ノハスノ方廣クアル間ミシカクツマリテミユルナリ
廿ハ長クシテ矢ニカヽリテユル〱ト見ヨキ程ニスヘ
シ寸タレノ分ハクミテ女ムスヒニ結テ廿分斗カシラノ
キハニテ引シメテサス一ノ矢ニカラミテトムヘシ寸タ
レノキハゞカリヲハ黒革ト赤革ト合テ赤革ヲ下ニ
童子テ女ムスヒニシテ切之又我家ノ紋ヲ付タル取
ハ寸タレヲモ羽ノトヲリニテモ可付又引リヤウト
モシトニ色付ル取ハモシヲハ寸タレニ付テ引リヤウヲ
ハ羽ノトヲリニ付ヘシ又ムモンニモスヘシ色不定

一 射手方聞書云矢ホロノ事色ハ何ニテモ好ニシタカ
ヒテ可用也

一 随兵日記云矢ボロノ色ハ紅モヘギ同白クモ又ハ朽葉色ニ
スヘシ但ウツタレニ我家ノモンヲヌヒ物ニテ織付ヘシ同
矢ニカケテ羽ノ通リニ二ツヒキリヤウヲクロクオリ付ヘ
シ惣テ矢ホロカクル事ハ略ノ義也

大日本帝國圖書印
日本政府圖書

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan